

10. 芸術専門学群

芸術専門学群共通

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
Y500131	造形教育論A-1	1	1.0	1-4					多文化美術教育の基本理念を軸として日本および諸外国の美術教育について理解を深める。	2019年度以降開講せず。西暦奇数年度開講。
Y500141	造形教育論A-2	1	1.0	1-4					芸術による教育について考える。	西暦奇数年度開講。
Y500151	造形教育論B-1	1	1.0	2-4	春AB	木2	5C316	箕輪 佳奈恵, 直江 俊雄	多文化美術教育の基本理念を軸として日本および諸外国の美術教育について理解を深める。	2019年度以降開講せず。西暦偶数年度開講。西暦奇数年度開講。
Y500161	造形教育論B-2	1	1.0	2-4	秋AB	木2	5C316	直江 俊雄	芸術による教育について考える。	西暦偶数年度開講。
Y500211	専門語学(英語)A-1	1	1.0	2-4	春AB	火6	5C403	上北 恭史	基本的文法の整理と建築に関わる文献の講読。	2018年度限り。西暦偶数年度開講。
Y500221	専門語学(英語)B-1	1	1.0	2-4					基本的文法の整理と建築に関わる文献の講読。	2019年度以降開講しない。西暦奇数年度開講。
Y500311	専門語学(英語)A-2	1	1.0	2-4	秋AB	月6	5C308	渡 和由	デザインに関わる文献の講読。	2018年度限り。西暦偶数年度開講。
Y500321	専門語学(英語)B-2	1	1.0	2-4					デザインに関わる文献の講読	2019年度以降開講しない。西暦奇数年度開講。
Y500511	専門語学(英語)C-1	1	1.0	2-4					美術史に関する文献の講読。	2019年度以降開講しない。西暦奇数年度開講。
Y500521	専門語学(英語)D-1	1	1.0	2-4	春AB	火6	5C411	大久保 範子	美術史に関する文献の講読。	2018年度限り。西暦偶数年度開講。
Y500611	専門語学(英語)C-2	1	1.0	2-4					美術史に関する文献の講読。	2019年度以降開講しない。西暦奇数年度開講。
Y500621	専門語学(英語)D-2	1	1.0	2-4	秋AB	火6	5C411	大久保 範子	美術史に関する文献の講読。	西暦偶数年度開講。2018年度限り
Y500811	専門語学(英語)E-1	1	1.0	2-4	春AB	月6	5C307	バニアニ マフシンド	美術に関わる文献の講読。	英語で授業。2018年度限り。英語で授業。This class is in English.
Y500821	専門語学(英語)E-2	1	1.0	2-4	秋AB	月6	5C307	バニアニ マフシンド	美術に関わる文献の講読。	英語で授業。2018年度限り。英語で授業。This class is in English.
Y500911	専門語学(独語)A-1	1	1.0	2-4	春AB	月6	5C411	寺門 臨太郎	芸術に関わる文献の講読。	2018年度限り。西暦偶数年度開講。
Y500921	専門語学(独語)B-1	1	1.0	2-4					芸術史にかかわる独語文献講読。	2019年度以降開講しない。西暦奇数年度開講。
Y501011	専門語学(独語)A-2	1	1.0	2-4	秋AB	月6	5C411	寺門 臨太郎	芸術にかかわる独語文献講読	2018年度限り。西暦偶数年度開講。
Y501021	専門語学(独語)A-2	1	1.0	2-4					芸術史にかかわる独語文献講読。	西暦奇数年度開講。2019年度以降開講しない。西暦奇数年度開講。
Y501511	専門語学(中国語)A-1	1	1.0	2-4	春AB	木6	6A405	中村 伸夫	中国書法史にかかわる基本図書の講読。	2018年度限り。西暦偶数年度開講。
Y501521	専門語学(中国語)B-1	1	1.0	2-4					中国書法史にかかわる基本図書の講読	西暦奇数年度開講。2019年度以降開講しない。西暦奇数年度開講。
Y501611	専門語学(中国語)A-2	1	1.0	2-4	春C秋A	木6	6A405	中村 伸夫	中国書法史にかかわる基本図書の講読。	2018年度限り。西暦偶数年度開講。
Y501621	専門語学(中国語)B-2	1	1.0	2-4					中国書法史にかかわる基本図書の講読	西暦奇数年度開講。2019年度以降開講しない。西暦奇数年度開講。
Y501711	専門語学(中国語)A-3	1	1.0	2-4	秋BC	木6	6A405	中村 伸夫	中国書法史にかかわる基本図書の講読。	2018年度限り。西暦偶数年度開講。
Y501721	専門語学(中国語)B-3	1	1.0	2-4					中国書法史にかかわる基本図書の講読	西暦奇数年度開講。2019年度以降開講しない。西暦奇数年度開講。
Y502112	英語基礎演習A-1	2	0.5	2-4	春AB	月3	5C316	バニアニ マフシンド	This course will provide students with opportunities to practice individual and group speech deliveries, as well as challenge their creativity through innovative projects.	英語で授業。英語で発表する能力を育成する。This class will be held in English.
Y502122	英語基礎演習A-2	2	0.5	2-4	秋AB	月3	5C316	バニアニ マフシンド	This course will provide students with opportunities to practice individual and group speech deliveries, as well as challenge their creativity through innovative projects.	英語で授業。英語で発表する能力を育成する。This class will be held in English.

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y502212	英語基礎演習B-1	2	0.5	2-4	春AB	水3	5C316	バニアニ マフシンド	This course will provide students with opportunities to practice individual and group speech deliveries, as well as challenge their creativity through innovative projects.	英語で授業。英語で発表する能力を育成する。This class will be held in English.
Y502222	英語基礎演習B-2	2	0.5	2-4	秋AB	水3	5C316	バニアニ マフシンド	This course will provide students with opportunities to practice individual and group speech deliveries, as well as challenge their creativity through innovative projects.	英語で授業。英語で発表する能力を育成する。This class will be held in English.
Y502312	英語基礎演習C-1	2	0.5	2-4	春AB	木6	5C316	バニアニ マフシンド	This course will provide students with opportunities to practice individual and group speech deliveries, as well as challenge their creativity through innovative projects.	英語で授業。英語で発表する能力を育成する。This class will be held in English.
Y502322	英語基礎演習C-2	2	0.5	2-4	秋AB	木6	5C316	バニアニ マフシンド	This course will provide students with opportunities to practice individual and group speech deliveries, as well as challenge their creativity through innovative projects.	英語で授業。英語で発表する能力を育成する。This class will be held in English.
Y505201	創造的復興:視点構築論	1	1.0	3-4	春AB	火6	5C404	宮原 克人, 齋藤敏寿, 原 忠信, 村上 史明, 山本早里, 上浦 佑太	多様な問題を抱える復興の現場ではアイデアや実践力が求められている。現場で活動している様々な領域の専門家を招き、複眼的な発想力と突破力を講義を通して学習する。	
Y510111	芸術学概論-1	1	1.0	1	春AB	月3	5C216	寺門 臨太郎	芸術を学ぶ素地を形成するための基礎的な芸術理論について概説する。	
Y510121	芸術学概論-2	1	1.0	1	秋AB	月3	5C216	長田 年弘	芸術を学ぶ素地を形成するための基礎的な芸術理論について概説する。	
Y510211	美術史概説A-1	1	1.0	1					古代から初期キリスト教時代にかけての西洋美術史における様式の変遷と基礎的な概念を概説する。	西暦奇数年度開講
Y510221	美術史概説A-2	1	1.0	1	春AB	火2	5C508	寺門 臨太郎	中世から近世にかけての西洋美術史における様式の変遷と基礎的な概念を概説する。	西暦偶数年度開講
Y510311	美術史概説B-1	1	1.0	1					東アジアの美術史と平安時代から江戸時代にかけての日本美術史における様式の変遷と基礎的な概念を概説する。	西暦奇数年度開講。
Y510321	美術史概説B-2	1	1.0	1	秋AB	火2		八木 春生	インドおよび中国の仏教美術史と飛鳥時代から奈良時代にかけての日本美術史における様式の変遷と基礎的な概念を概説する。	西暦偶数年度開講。
Y510411	デザイン史概説A	1	1.0	1	春AB	火2	5C317	木村 浩, 五十嵐浩也, 小山 慎一	情報、プロダクトにかかわるデザインの歴史を概説する。	
Y510421	デザイン史概説B	1	1.0	1	秋AB	火2	5C416	野中 勝利, 黒田乃生	建築及び環境にかかわるデザインの歴史を概説する。	
Y510511	造形論A	1	1.0	1	秋AB	金5	5C216	國安 孝昌	美術とデザインに共通する基本的要素を横断的に捉え、造形の制作及び理論に関する諸問題を概説する。	
Y510521	造形論B	1	1.0	1	秋C	火・金5	5C416	五十嵐 浩也	デザインにおける造形の意味について、感性、技術、文化と関連させながら概説をする。	
Y510601	世界遺産学入門	1	1.0	2	春AB	火2	5C506	松井 敏也	世界遺産のしくみ、考え方について解説するとともに、国内外の具体的な事例を紹介する。	
Y510801	芸術材料論	1	1.0	1-3	秋C	木2集中	5C407	松井 敏也	芸術、美術に用いられる材料について、その色や形、物性を理解するために必要な自然科学の基礎を元素の種類、構造などミクロな視点から解説し、材料科学リテラシーを高め、理解を深める。材料の歴史の変遷についても概説する。	
Y520112	造形基礎演習A(1)	2	2.0	1	春A	月・木4,5	5C109	太田 圭, 内藤定壽, 仏山 輝美	静物をモチーフとした素描(木炭または鉛筆)により、基礎的な表現力と創造的な感覚を養う。各課題の終了後、テーマのチェック及び講評を行う。	芸術1クラス対象 2018年度限り
Y520122	造形基礎演習A(2)	2	2.0	1	秋A	月・木4,5	5C109	太田 圭, 内藤定壽, 仏山 輝美	静物をモチーフとした素描(木炭または鉛筆)により、基礎的な表現力と創造的な感覚を養う。各課題の終了後、テーマのチェック及び講評を行う。	芸術2クラス対象 2018年度限り
Y520132	造形基礎演習A(3)	2	2.0	1	春B	月・木4,5	5C109	太田 圭, 内藤定壽, 仏山 輝美	静物をモチーフとした素描(木炭または鉛筆)により、基礎的な表現力と創造的な感覚を養う。各課題の終了後、テーマのチェック及び講評を行う。	芸術3クラス対象 2018年度限り
Y520212	造形基礎演習B(1)	2	2.0	1	春B	月・木4,5	5C112	中村 義孝	自刻像レリーフ制作を通して立体に対する観察力、認識力を深め基礎的な立体造形力と創造的な感覚を養う。また粘土原形から石膏に移しかえる石膏型取り技法についても習得する。	芸術1クラス対象 2018年度限り
Y520222	造形基礎演習B(2)	2	2.0	1	春A	月・木4,5	5C112	中村 義孝	自刻像レリーフ制作を通して立体に対する観察力、認識力を深め基礎的な立体造形力と創造的な感覚を養う。また粘土原形から石膏に移しかえる石膏型取り技法についても習得する。	芸術2クラス対象 2018年度限り
Y520232	造形基礎演習B(3)	2	2.0	1	秋A	月・木4,5	5C112	中村 義孝	自刻像レリーフ制作を通して立体に対する観察力、認識力を深め基礎的な立体造形力と創造的な感覚を養う。また粘土原形から石膏に移しかえる石膏型取り技法についても習得する。	芸術3クラス対象 2018年度限り
Y520312	造形基礎演習C(1)	2	2.0	1	秋A	月・木4,5	5C203	鄭 然暲	月曜日:色彩による平面構成を通して、技術とコンセプトの重要性、素材の特質などの基礎的な造形感覚を養う。木曜日:ドローイングを通して、芸術の根源である「自己表現をする」ための基礎的な表現力と創造的な感覚を養う。	芸術1クラス対象 2018年度限り

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y520322	造形基礎演習C(2)	2	2.0	1	春B	月・木 4,5	5C203	鄭 然暲	月曜日:色彩による平面構成を通して、技術とコンセプトの重要性、素材の特質などの基礎的造形感覚を養う。 木曜日:ドローイングを通して、芸術の根源である「自己表現をする」ための基礎的な表現力と創造的な感覚を養う。	芸術2クラス対象 2018年度限り
Y520332	造形基礎演習C(3)	2	2.0	1	春A	月・木 4,5	5C203	鄭 然暲	月曜日:色彩による平面構成を通して、技術とコンセプトの重要性、素材の特質などの基礎的造形感覚を養う。 木曜日:ドローイングを通して、芸術の根源である「自己表現をする」ための基礎的な表現力と創造的な感覚を養う。	芸術3クラス対象 2018年度限り
Y520413	造形技法実習A油性素材実験-1	3	1.0	1・2	秋B	月・木 4,5	5C303	内藤 定壽, 仏山 輝美	油彩画の制作に取り組み、その表現効果に対する理解を深め、素材に対する基本的知識・技能を養う。	2018年度限り
Y520423	造形技法実習A油性素材実験-2	3	1.0	1・2	秋C	月・木 4,5	5C303	内藤 定壽, 仏山 輝美	油彩画の制作に取り組み、その表現効果に対する理解を深め、素材に対する基本的知識・技能を養う。	2018年度限り
Y520513	造形技法実習B水性素材実験-1	3	1.0	1・2	秋B	月・木 4,5	アート & デザイン 実習室1	程塚 敏明	本授業はパネル制作及び額縁制作を行なうとともに、水性素材を使用する支持体(和紙, 洋紙, 絹)の上に水性実験表現を行なう事により、その素材(水彩絵具, 水干絵具)の特質を理解する。	2018年度限り
Y520523	造形技法実習B水性素材実験-2	3	1.0	1・2	秋C	月・木 4,5	アート & デザイン 実習室1	程塚 敏明	本授業はパネル制作及び額縁制作を行なうとともに、水性素材を使用する支持体(和紙, 洋紙, 絹)の上に水性実験表現を行なう事により、その素材(水彩絵具, 水干絵具)の特質を理解する。	2018年度限り
Y520613	造形技法実習C彫塑-1	3	1.0	1・2	秋B	月・木 4,5	5C112	大原 央聡, 中村 義孝	人物モデルを使用し塑造による頭像を制作する。	人数制限あり 2018年度限り
Y520623	造形技法実習C彫塑-2	3	1.0	1・2	秋C	月・木 4,5	5C112	大原 央聡, 中村 義孝	人物モデルを使用し塑造による頭像を制作する。	人数制限あり 2018年度限り
Y520733	造形技法実習Dグラフィックプレゼンテーション	3	1.0	1・2	秋B	月・木 4,5	5C203	渡 和由	デザインの意図を効果的に表現するための技法について学習する。屋内外空間を対象として住環境の観察力や理解力・表現力を養い、スケッチ・製図法・透視図などの手法について実習する。	2018年度限り
Y520813	造形技法実習E情報-1	3	1.0	1・2	春C	月・木 4,5	学術情報 メディア センター A203	原 忠信	Adobe® Creative Suiteの使用方法を制作課題を通じて学ぶ。	芸術専門学群の学生に限る 2018年度限り
Y520823	造形技法実習E情報-2	3	1.0	1・2	春ABC	随時	5C205	村上 史明	デジタル一眼カメラを使用し、ライティングを含めた写真の撮影技法を学ぶ。Photoshopなどを使用した画像加工技術と、インクジェットプリンタによる出力技術の習得も併せて行う。	デジタル一眼カメラを所有していること(購入機材については初回のガイダンスで説明する)
Y520913	造形技法実習F立体加工-1	3	1.0	1・2	秋B	月・木 4,5		小野 裕子	立体加工の諸技法の内「シリコーンゴム・樹脂」をとり上げ、その素材の特質などを作品制作を通して理解しながら、造形感覚とスキルを養う。	人数制限あり(25名) 初日から参加必須 2018年度限り。6B101 教室
Y520923	造形技法実習F立体加工-2	3	1.0	1・2	春C	火4-6 集中	工房 C113	五十嵐 浩也	立体加工の諸技法の内「金属」を取り上げ、その素材の特質などを作品制作を通して理解しながら、造形感覚とスキルを養う。	人数制限あり 2018年度限り

美術史

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y110111	美術史学方法論-1	1	1.0	1	春AB	木2	6B203	長田 年弘, 寺門 臨太郎	美術史学の目的、対象、方法論の基礎について、コース担当教員各々の専門分野に応じて具体的事例を挙げながら講述する。	美術史学方法論Iからの科目名変更 2018年度限り
Y110131	美術史学方法論-2	1	1.0	1	秋AB	木2	6B203	林 みちこ, 水野 裕史	美術史学の目的、対象、方法論の基礎について、コース担当教員各々の専門分野に応じて具体的事例を挙げながら講述する。	美術史学方法論IIからの科目名変更 2018年度限り。
Y110231	美術史特講A-1	1	1.0	2・3					日本美術史に関する特定のテーマについての講述。	美術史特講A-I-1からの科目名変更 西暦奇数年度開講。
Y110241	美術史特講A-2	1	1.0	2・3					日本美術史に関する特定のテーマについての講述。	西暦偶数年度開講。
Y110251	美術論特講-1	1	1.0	2・3	春AB	火4	6B203	林 みちこ	近現代美術史に関する特定のテーマについての講述。	美術史特講A-II-1からの科目名変更 西暦偶数年度開講。
Y110261	美術論特講-2	1	1.0	2・3	秋AB	火4	6B203	林 みちこ	近現代美術史に関する特定のテーマについての講述。	美術史特講A-II-2からの科目名変更 西暦偶数年度開講。
Y110331	美術史特講C-1	1	1.0	2・3					西洋近世美術史に関する特定のテーマについての講述。	美術史特講B-I-1からの科目名変更 西暦奇数年度開講。
Y110341	美術史特講C-2	1	1.5	2・3					西洋近世美術史に関する特定のテーマについての講述。	美術史特講B-I-2からの科目名変更 西暦偶数年度開講。
Y110351	美術史特講D-1	1	1.0	2・3	春AB	木4	6B203	長田 年弘		美術史特講B-II-1からの科目名変更 西暦偶数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y110361	美術史特講D-2	1	1.5	2・3	秋ABC	木4	6B203	長田 年弘		美術史特講B-11-2からの科目名変更 西暦偶数年度開講。
Y110512	美術史演習A-1	2	1.0	2・3					日本美術史に関する文献の講読および関連テーマについての個別研究発表。	美術史演習A-1-1からの科目名変更。 西暦奇数年度開講。
Y110522	美術史演習A-2	2	1.0	2・3					日本美術史に関する文献の講読および関連テーマについての個別研究発表。	美術史演習A-1-2からの科目名変更。 西暦偶数年度開講。
Y110532	美術論演習-1	2	1.0	2・3	春AB	火5	6B203	水野 裕史	日本美術史に関する文献の講読および関連テーマについての個別研究発表。	西暦偶数年度開講。 美術史演習A-11-1からの科目名変更。 西暦偶数年度開講。
Y110542	美術論演習-2	2	1.0	2・3	秋AB	火5	6B203	水野 裕史	日本美術史に関する文献の講読および関連テーマについての個別研究発表。	美術史演習A-11-2からの科目名変更。 西暦偶数年度開講。
Y110632	美術史演習C-1	2	1.0	2・3					西洋近世美術史に関する文献の講読および関連テーマについての個別研究発表。	美術史演習B-1-1からの科目名変更。 西暦奇数年度開講。
Y110642	美術史演習C-2	2	1.5	2・3					西洋近世美術史に関する文献の講読および関連テーマについての個別研究発表。	美術史演習B-1-2からの科目名変更。 西暦奇数年度開講。
Y110652	美術史演習D-1	2	1.0	2・3	春AB	木5	6B203	寺門 臨太郎	西洋美術史に関する文献講読および関連テーマについての個別研究発表。	美術史演習B-11-1からの科目名変更。 西暦偶数年度開講。
Y110662	美術史演習D-2	2	1.5	2・3	秋ABC	木5		寺門 臨太郎	西洋美術史に関する文献講読および関連テーマについての個別研究発表。	美術史演習B-11-2からの科目名変更。 西暦偶数年度開講。
Y110932	学外演習I(美術史)	2	1.5	2	秋C	集中		長田 年弘, 寺門 臨太郎, 林 みちこ, 水野 裕史	美術作品や歴史的建築物などを实地において観察し、美術史の調査・研究の基本的な方法を演習する。	
Y110942	学外演習II(美術史)	2	1.5	3	秋C	集中		長田 年弘, 寺門 臨太郎, 林 みちこ, 水野 裕史	美術作品や歴史的建築物などを实地において観察し、美術史の調査・研究の基本的な方法を演習する。	
Y111001	美術史研究	1	2.0	4	通年	随時		長田 年弘, 寺門 臨太郎, 林 みちこ, 水野 裕史	美術史に関する各自が設定したテーマによる個別または、集団による論文指導。卒業論文中間報告会(6.11月)における発表を含む。	芸術学専攻美術史コースの学生に限る。
Y119908	卒業研究	8	6.0	4	通年	随時		長田 年弘, 寺門 臨太郎, 林 みちこ, 水野 裕史	美術史に関する卒業論文。	芸術学専攻美術史コースの学生に限る。

芸術支援(平成20年度以降入学者)、特別カリキュラム「芸術支援学」(平成19年度以前入学者)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y120101	芸術支援学概論	1	1.0	1	春AB	火5	5C317	石崎 和宏, 直江 俊雄, 箕輪 佳奈恵, 大久保 範子	現代社会における芸術活動の環境形成を支援するための理論と方法について、基礎的な知識を学ぶ。	2018年度限り GDP
Y120211	芸術支援学IA-1—美術展の企画運営—	1	1.0	2・3	春AB	木1		大久保 範子	美術館・市民ギャラリー・地域での美術展・アートプロジェクトの企画運営について講述する。芸術支援の観点から美術展・アートプロジェクトを分析し、芸術活動の活性化を研究する。	西暦偶数年度開講。
Y120221	芸術支援学IA-2—美術展の企画運営—	1	1.0	2・3	秋AB	木1		大久保 範子	美術館・市民ギャラリー・地域での美術展・アートプロジェクトの企画運営について講述する。芸術支援の観点から美術展・アートプロジェクトを分析し、芸術活動の活性化を研究する。	西暦偶数年度開講。
Y120311	芸術支援学IB-1—芸術表現と支援ツール—	1	1.0	2・3	春AB	木2	5C307	石崎 和宏	美術館や学校において芸術表現を支援するツールの広がりを見直し、それらの目的や観点、方法を考察して試作支援ツールを開発する。	西暦偶数年度開講。
Y120321	芸術支援学IB-2—芸術表現と支援ツール—	1	1.0	2・3	秋AB	木2	5C307	石崎 和宏	美術館や学校において芸術表現を支援するツールの広がりを見直し、それらの目的や観点、方法を考察して試作支援ツールを開発する。	西暦偶数年度開講。
Y120411	芸術支援学IC-1—芸術学習のサポートとケア—	1	1.0	2・3					学校教育・美術館教育・生涯学習などの様々な環境における芸術学習を支援するプログラムを立案・実行するための理論と方法を、主に講義を通して学ぶ。	西暦奇数年度開講。
Y120502	学外演習I(芸術支援学)	2	1.5	1・2		集中		石崎 和宏, 直江 俊雄, 箕輪 佳奈恵, 大久保 範子	現代社会における芸術支援の事例を实地に調査する。	
Y120611	芸術支援学IIA-1—美術館事業の企画運営—	1	1.0	2・3					美術館の三大機能である調査・研究、収集・保存、展示・教育の実務について講述する。美術館事業の活性化を研究する。	西暦奇数年度開講。
Y120621	芸術支援学IIA-2—美術館事業の企画運営—	1	1.0	2・3					美術館の三大機能である調査・研究、収集・保存、展示・教育の実務について講述する。美術館事業の活性化を研究する。	西暦偶数年度開講。
Y120811	芸術支援学IIC-1—クリエイティブ・アート・ライティング—	1	1.0	2・3	春AB	水1	5C308	直江 俊雄	芸術体験を言葉で伝えよう活動について学び、制作、研究、教育等における芸術支援の基礎となる能力を養う。	西暦偶数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y120821	芸術支援学IIC-2—クリエイティブ・アート・ライティング—	1	1.0	2・3	秋ABC	随時1		直江 俊雄, 箕輪 佳奈恵	芸術体験を言葉で伝えあう活動について学び、制作、研究、教育等における芸術支援の基礎となる能力を養う。	西暦偶数年度開講。
Y120832	芸術支援学演習A-I	2	1.0	1・2	通年	随時		大久保 範子	芸術支援に関する演習を行う。	
Y120842	芸術支援学演習A-II	2	1.0	2・3	通年	随時		大久保 範子	芸術支援に関する演習を行う。	
Y120852	芸術支援学演習B-I	2	1.0	1・2	通年	随時		直江 俊雄, 箕輪 佳奈恵	芸術支援に関する演習を行う。	
Y120862	芸術支援学演習B-II	2	1.0	2・3	通年	随時		直江 俊雄, 箕輪 佳奈恵	芸術支援に関する演習を行う。	
Y120872	芸術支援学演習C-I	2	1.0	1・2	通年	随時		箕輪 佳奈恵, 直江 俊雄	芸術支援に関する演習を行う。	
Y120882	芸術支援学演習C-II	2	1.0	2・3	通年	随時		箕輪 佳奈恵, 直江 俊雄	芸術支援に関する演習を行う。	
Y120902	学外演習II(芸術支援学)	2	1.5	2・3		集中		石崎 和宏, 直江 俊雄, 箕輪 佳奈恵, 大久保 範子	現代社会における芸術支援の事例を実地に調査する。	
Y121002	芸術支援学研究	2	2.0	4	通年	随時		石崎 和宏, 直江 俊雄, 大久保 範子	芸術支援学に関して各自が設定したテーマによる個別または集団による論文・実践指導。	
Y121112	芸術支援学演習A-III	2	1.0	3・4	通年	随時		大久保 範子	芸術支援に関する演習を行う。	
Y121122	芸術支援学演習B-III	2	1.0	3・4	通年	随時		直江 俊雄, 箕輪 佳奈恵	芸術支援に関する演習を行う。	
Y121132	芸術支援学演習C-III	2	1.0	3・4	通年	随時		箕輪 佳奈恵, 直江 俊雄	芸術支援に関する演習を行う。	
Y121202	学外演習III(芸術支援学)	2	1.5	3・4		集中		石崎 和宏, 直江 俊雄, 箕輪 佳奈恵, 大久保 範子	現代社会における芸術支援の事例を実地に調査する。	
Y129908	卒業研究	8	6.0	4	通年	随時		石崎 和宏, 直江 俊雄, 大久保 範子	芸術支援に関わる卒業論文の執筆。	

美術(共通)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y200131	美術論A-1	1	1.0	3・4	春AB	月3		林 みちこ	作品制作の理論的基盤となる近現代美術史の特定課題に関する講述。近年の展覧会情報を含む。	西暦偶数年度開講。
Y200141	美術論A-2	1	1.0	3・4	秋AB	月3		林 みちこ	作品制作の理論的基盤となる近現代美術史の特定課題に関する講述。近年の展覧会情報を含む。	西暦偶数年度開講。
Y200151	美術論B-1	1	1.0	3・4						西暦奇数年度開講。
Y200161	美術論B-2	1	1.0	3・4						西暦奇数年度開講。
Y200331	彫刻史A-I	1	1.0	2・3					日本及び東洋彫刻史上の代表的作例を通観しながら、その特質について講述する。	西暦奇数年度開講。
Y200341	彫刻史A-II	1	1.0	2・3					日本及び東洋彫刻史上の代表的作例を通観しながら、その特質について講述する。	西暦奇数年度開講。
Y200351	彫刻史B-I	1	1.0	2・3	春AB	月5				2018年度以降は開講せず。 西暦偶数年度開講。
Y200361	彫刻史B-II	1	1.0	2・3	秋AB	月5				2018年度以降は開講せず。 西暦偶数年度開講。
Y200411	芸術解剖学I	1	1.5	3・4	春ABC	火6	5C216	足立 和隆	骨格系、筋系を中心に身体の形態や構造などについて述べるとともに、それらが体表からどのように観察され、実際の作例にどのように表現されているかについて解説する。	西暦偶数年度開講。
Y200421	芸術解剖学II	1	1.5	3・4	秋ABC	火6	5C216	足立 和隆	骨格系、筋系を中心に身体の形態や構造などについて述べるとともに、それらが体表からどのように観察され、実際の作例にどのように表現されているかについて解説する。	「芸術解剖学I」を履修済みであること。 西暦偶数年度開講。
Y200513	素描実習I-1	3	1.5	1	春ABC	水2,3	5C109, 5C303	仏山 輝美, 山本 浩之	石膏像及び人体を素描し、明暗によって美を表現する。物の見方、形態、構造、調子、動勢、空間と量、質感などの基本的な造形要素を把握し、基礎的表現力を養う。存在そのものの感動的な美を感じ、意欲的に制作する。人体からは生命感のある表現を学ぶ。	
Y200523	素描実習I-2	3	1.5	1	秋ABC	水2,3	5C109, 5C303	仏山 輝美, 山本 浩之	石膏像及び人体を素描し、明暗によって美を表現する。物の見方、形態、構造、調子、動勢、空間と量、質感などの基本的な造形要素を把握し、基礎的表現力を養う。存在そのものの感動的な美を感じ、意欲的に制作する。人体からは生命感のある表現を学ぶ。	「素描実習I-1」を履修済みのこと。
Y200633	素描実習II-A-1	3	1.5	2	春ABC	火4,5	5C109, 5C114	福満 正志郎	木炭又は鉛筆による石膏像及び人体の写生を主とする素描訓練を通して、観察力と造形感覚の向上をはかり、絵画表現の基礎技術の習得を目標とする。	
Y200643	素描実習II-A-2	3	1.5	2	秋ABC	火4,5	5C109, 5C114	福満 正志郎	木炭又は鉛筆による石膏像及び人体の写生を主とする素描訓練を通して、観察力と造形感覚の向上をはかり、絵画表現の基礎技術の習得を目標とする。	素描実習II-A-1を履修済みのこと。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y200653	素描実習II-B-1	3	1.5	2	春ABC	金4,5	5C109, 5C114	玉川 信一	木炭または鉛筆による石膏像及び人体の素描写生を通して、造形の基本となる形態、明暗、量、質、空間についての観察力と造形感覚を養い、絵画表現の基礎技術を習得させる。洋画コース必修、原則として2年次履修。素描実習Iを履修の上で素描実習IIA、油絵基礎実習との平行履修が望ましい。課題毎に作品提出し、評価と講評を受けること。	
Y200663	素描実習II-B-2	3	1.5	2	秋ABC	金4,5	5C109, 5C114	玉川 信一	木炭または鉛筆による石膏像及び人体の素描写生を通して、造形の基本となる形態、明暗、量、質、空間についての観察力と造形感覚を養い、絵画表現の基礎技術を習得させる。洋画コース必修、原則として2年次履修。素描実習Iを履修の上で素描実習IIA、油絵基礎実習との平行履修が望ましい。課題毎に作品提出し、評価と講評を受けること。	素描実習II-B-1を履修済みのこと。
Y200813	版画基礎実習-1	3	1.5	2	春ABC	金2,3	6A105, 芸術C204	田島 直樹	版画表現の基礎的な技法を修得させると同時に、中等教育美術の「版画」に関わる教材研究ともなり得ることを期す。木版画とシルクスクリーン版画について実習を行う。	継続して「版画基礎実習-2」を履修可能な者のみ受講可。
Y200823	版画基礎実習-2	3	1.5	2	秋ABC	金2,3	6A105, 芸術C204	田島 直樹	版画表現の基礎的な技法を修得させると同時に、中等教育美術の「版画」に関わる教材研究ともなり得ることを期す。銅版画、紙版画の発展したコラグラフについて実習を行う。	版画基礎実習-1を履修済みのこと。
Y201113	日本画基礎実習1	3	1.5	2	春ABC	木4,5	6A311, 6A408-1	太田 圭, 程塚敏明, 山本 浩之	日本画材料を使用した実習を通し、基本的技法を習得すると共に表現力を養う。基本となる写生から岩絵具を用いる制作までを、4つの主題(植物・動物・風景・自画像)で学ぶ。	
Y201123	日本画基礎実習2	3	1.5	2	秋ABC	木4,5	6A311, 6A408-1	太田 圭, 程塚敏明, 山本 浩之	日本画材料を使用した実習を通し、基本的技法を習得すると共に表現力を養う。基本となる写生から岩絵具を用いる制作までを、4つの主題(植物・動物・風景・自画像)で学ぶ。	「日本画基礎実習1」を履修済みであること。
Y201233	塑造実習I-A-1	3	1.5	2	春ABC	火4,5	6A110	中村 義孝, 大原央聡	塑造による人体胸像・全身像制作を主とする。基礎的な形態把握とその表現を第一義とし、一個の塊として対象を把握し表現する能力を養う。人物モデルによる実習制作を通して、観察力を鋭敏にし、大掴みに形態を把握することを主目標とする。	「造形技法実習C彫塑-1,2」の履修者を優先する。人数制限あり。
Y201243	塑造実習I-A-2	3	1.5	2	秋ABC	火4,5	6A110	中村 義孝, 大原央聡	塑造による人体胸像・全身像制作を主とする。基礎的な形態把握とその表現を第一義とし、一個の塊として対象を把握し表現する能力を養う。人物モデルによる実習制作を通して、観察力を鋭敏にし、大掴みに形態を把握することを主目標とする。	「塑造実習I-A-1」を履修済みのこと。
Y201253	塑造実習I-B-1	3	1.5	2	春ABC	金2,3	6A110	中村 義孝, 大原央聡	塑造による人体胸像・全身像制作を主とする。基礎的な形態把握とその表現を第一義とし、一個の塊として対象を把握し表現する能力を養う。人物モデルによる実習制作を通して、観察力を鋭敏にし、大掴みに形態を把握することを主目標とする。	「造形技法実習C彫塑-1,2」の履修者を優先する。人数制限あり。
Y201263	塑造実習I-B-2	3	1.5	2	秋ABC	金2,3	6A110	中村 義孝, 大原央聡	塑造による人体胸像・全身像制作を主とする。基礎的な形態把握とその表現を第一義とし、一個の塊として対象を把握し表現する能力を養う。人物モデルによる実習制作を通して、観察力を鋭敏にし、大掴みに形態を把握することを主目標とする。	「塑造実習I-B-1」を履修済みのこと。
Y201313	テラコッタ実習	3	1.5	4	春ABC	月2,3	5C112	大原 央聡	テラコッタ技法により塑造制作を行う。手捻法(輪積)による低火度の焼成、型込め法による高温焼成を行う。	
Y201511	中国書法史I	1	1.5	2	春ABC	火2	6A405	菅野 智明	中国の書の変遷について講述する(殷~唐)。	
Y201521	中国書法史II	1	1.5	2	秋ABC	火2	6A405	菅野 智明	中国の書の変遷について講述する(宋~近代)。	
Y201611	日本書道史I	1	1.5	3	春ABC	水3	6A404	森岡 隆	日本の書、主として漢字書跡について講述する。	
Y201621	日本書道史II	1	1.5	3	秋ABC	水3	6A404	森岡 隆	日本の書、主として仮名書跡について講述する。	

美術(洋画)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y210101	洋画概論	1	1.0	1	春AB	金1	5C308	玉川 信一	絵画のもつ意義・特質・その他全般について、現代絵画を軸として講述しながら、絵画として成り立つまでの基本的な諸要素を分析する。更に、明治以降の日本洋画の展開について、今日に至るまでの経過と問題点を提起する。	2018年度限りGDP
Y210201	洋画技法論	1	1.0	2	春AB	金1	5C404	内藤 定壽	油彩画、アクリル画を中心に、絵画表現材料・表現技法について詳しく説明し、西洋画の画面の構造について述べる。洋画コース必修。2年次に素描実習II、油絵基礎技法演習、油絵基礎実習と平行履修することが望ましい。	
Y210301	洋画構想論	1	1.0	2・3	秋AB	金1	5C404	福満 正志郎	洋画の作品制作における構想について、総論及び各論を解説する。制作の基幹となる構想の意味を考え、その契機、様態、発想法における柔軟で幅広い構想力について具体的例にふれながら解説する。洋画コース必修。3年次に、油絵実習I、洋画技法演習と平行履修することが望ましい。	
Y210402	油絵基礎技法演習	2	2.0	2	春AB	火2,3	5C114	福満 正志郎	各種描画用支持体の作製をとおして、材料・技法に関する基本的知識・技能を養う。	
Y210503	油絵基礎実習	3	2.0	2	春C秋ABC	火2,3	5C114	福満 正志郎	裸婦モデルの写生を通して、油絵の基礎的な表現技術の修得と、用具・材料の取扱いに対して理解を深めることを目標とする。	「油絵基礎技法演習」を履修済みのこと

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y210602	洋画技法演習	2	4.0	3	春AB秋AB	金2,3	6B406	内藤 定壽	アクリル絵具と油絵具の併用による混合技法を通じて、下地、顔料とメディウム、ワニス等について理解する。西洋画の技法の原理について深く理解する。	「油絵基礎技法演習」、「洋画技法演習」を履修済であること。「油絵実習I-D-2」と並行履修すること。
Y210753	油絵実習I-A-1	3	1.5	3	春ABC	月2,3	6A409	玉川 信一	人体モデルによる実習を通して、生命感に満ちた形態の追求やそれに伴う専門的技術の習得を図る。洋画コース必修。原則として3年次履修。素描実習II、油絵基礎技法演習、油絵基礎実習を履修の上で洋画構想論、洋画技法演習との平行履修が望ましい。課題毎に作品提出し、評価と講評を受けること。	「素描実習」4単位、「油絵基礎技法演習」、「油絵基礎実習」を履修済みであること
Y210763	油絵実習I-A-2	3	1.5	3	秋ABC	月2,3	6A409	玉川 信一	人体モデルによる実習を通して、生命感に満ちた形態の追求やそれに伴う専門的技術の習得を図る。洋画コース必修。原則として3年次履修。素描実習II、油絵基礎技法演習、油絵基礎実習を履修の上で洋画構想論、洋画技法演習との平行履修が望ましい。課題毎に作品提出し、評価と講評を受けること。	「素描実習」4単位、「油絵基礎技法演習」、「油絵基礎実習」、「油絵実習I-A-1」を履修済みであること
Y210773	油絵実習I-B-1	3	1.5	3	春ABC	火4,5	6A409	内藤 定壽	人体モデルによる実習を通して、生命感に満ちた形態の追求やそれに伴う専門的技術の習得を図る。洋画コース必修。原則として3年次履修。素描実習II、油絵基礎技法演習、油絵基礎実習を履修の上で洋画構想論、洋画技法演習との平行履修が望ましい。課題作品を提出し講評を受けること。	「素描実習」4単位、「油絵基礎技法演習」、「油絵基礎実習」を履修済みであること
Y210783	油絵実習I-B-2	3	1.5	3	秋ABC	火4,5	6A409	内藤 定壽	人体モデルによる実習を通して、生命感に満ちた形態の追求やそれに伴う専門的技術の習得を図る。洋画コース必修。原則として3年次履修。素描実習II、油絵基礎技法演習、油絵基礎実習を履修の上で洋画構想論、洋画技法演習との平行履修が望ましい。課題作品を提出し講評を受けること。	「素描実習」4単位、「油絵基礎技法演習」、「油絵基礎実習」、「油絵実習I-B-1」を履修済みであること
Y210793	油絵実習I-C-1	3	1.5	3	春ABC	木4,5	6A409	仏山 輝美	人体モデルによる実習を通して、色彩の効果や、その調和について修練し、絵具、とき油などの使用に習熟する。また、油絵具の特性を生かして人体の肉感や肌の質感を表す描画力を養う。	「素描実習」4単位、「油絵基礎技法演習」、「油絵基礎実習」を履修済みであること
Y210853	油絵実習I-C-2	3	1.5	3	秋ABC	木4,5	6A409	仏山 輝美	人体モデルによる実習を通して、色彩の効果や、その調和について修練し、絵具、とき油などの使用に習熟する。また、油絵具の特性を生かして人体の肉感や肌の質感を表す描画力を養う。	「素描実習」4単位、「油絵基礎技法演習」、「油絵基礎実習」、「油絵実習I-C-1」を履修済みであること
Y210863	油絵実習I-D-1	3	1.5	3	春ABC	金4,5	6A409	福満 正志郎	人体モデルによる実習を通して、色彩の効果や、その調和について修練し、絵具、とき油などの使用に習熟する。また、油絵具の特性を生かして人体の肉感や肌の質感を表す描画力を養う。	「素描実習」4単位、「油絵基礎技法演習」、「油絵基礎実習」を履修済みであること
Y210873	油絵実習I-D-2	3	1.5	3	秋ABC	金4,5	6A409	福満 正志郎	人体モデルによる実習を通して、色彩の効果や、その調和について修練し、絵具、とき油などの使用に習熟する。また、油絵具の特性を生かして人体の肉感や肌の質感を表す描画力を養う。	「素描実習」4単位、「油絵基礎技法演習」、「油絵基礎実習」、「油絵実習I-D-1」を履修済みであること。「洋画技法演習」と並行履修すること。
Y210903	洋画野外風景実習I	3	1.0	2	春A	集中	学外	玉川 信一、内藤 定壽、福満 正志郎、仏山 輝美	学外実習として、約1週間、特定の写生地に宿泊して、風景表現の実地指導を行う。	洋画コース対象
Y210913	洋画野外風景実習II	3	1.0	3	春A	集中	学外	玉川 信一、内藤 定壽、福満 正志郎、仏山 輝美	学外実習として、約1週間、特定の写生地に宿泊して、野外風景実習のIの成果をさらに深めるための実地指導を行う。	洋画コース対象
Y210923	洋画野外風景実習III	3	1.0	4	春A	集中	学外	玉川 信一、内藤 定壽、福満 正志郎、仏山 輝美	学外実習として、約1週間、特定の写生地に宿泊して、野外風景表現の実地指導を行う。	洋画コース対象
Y210933	油絵実習II-A-1	3	1.0	4	春AB	月4,5	6A410-2, 6A410-3	玉川 信一	人体モデル等による実習を通して、それぞれの感性を生かしながら、形態の追求や専門的技術の習熟を図り、自らの表現の方向を追求する。課題毎に作品提出し、評価と講評を受けること。	「油絵実習I」、「洋画技法演習」を履修済みであること
Y210943	油絵実習II-A-2	3	1.0	4	春C秋A	月4,5	6A410-2, 6A410-3	玉川 信一	人体モデル等による実習を通して、それぞれの感性を生かしながら、形態の追求や専門的技術の習熟を図り、自らの表現の方向を追求する。課題毎に作品提出し、評価と講評を受けること。	「油絵実習I」、「洋画技法演習」、「油絵実習II-A-1」を履修済みであること
Y210953	油絵実習II-B-1	3	1.0	4	春AB	火2,3	6A410-2, 6A410-3	内藤 定壽	人体モデル等による実習を通して、調子・空間・動勢等の画面に於ける働きを理解し制作する表現力を養う。自己の表現に適する素材や技法を模索し、独自で普遍性のある表現に達する糸口を見出す。	「油絵実習I」、「洋画技法演習」を履修済みであること
Y210963	油絵実習II-B-2	3	1.0	4	春C秋A	火2,3	6A410-2, 6A410-3	内藤 定壽	人体モデル等による実習を通して、調子・空間・動勢等の画面に於ける働きを理解し制作する表現力を養う。自己の表現に適する素材や技法を模索し、独自で普遍性のある表現に達する糸口を見出す。	「油絵実習I」、「洋画技法演習」、「油絵実習II-B-1」を履修済みであること

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y210973	油絵実習II-C-1	3	1.0	4	春AB	木2,3	6A410-2,6A410-3	仏山 輝美	人体の写生を通じて、主題であるモデルとそれを取り巻く背景をいかに絵画に表すかについて学ぶ。特に形態と色彩の連関に着目して画面全体の調和を構築する態度と技術を培う。	「油絵実習I」、「洋画技法演習」を履修済みであること
Y210983	油絵実習II-C-2	3	1.0	4	春C秋A	木2,3	6A410-2,6A410-3	仏山 輝美	人体の写生を通じて、主題であるモデルとそれを取り巻く背景をいかに絵画に表すかについて学ぶ。特に形態と色彩の連関に着目して画面全体の調和を構築する態度と技術を培う。	「油絵実習I」、「洋画技法演習」、「油絵実習II-C-1」を履修済みであること
Y210993	油絵実習II-D-1	3	1.0	4	春AB	金2,3	6A410-2,6A410-3	福満 正志郎	人体モデルや各種のモチーフを基に油彩画等による制作実習を通して自らの表現の方向を見だし、想像力を高め、美的感覚と技法を洗練し、絵画的造形要素を表現の意図に沿って適切に用いる個性的な作品制作の能力を養う。	「油絵実習I」、「洋画技法演習」を履修済みであること
Y211003	油絵実習II-D-2	3	1.0	4	春C秋A	金2,3	6A410-2,6A410-3	福満 正志郎	人体モデルや各種のモチーフを基に油彩画等による制作実習を通して自らの表現の方向を見だし、想像力を高め、美的感覚と技法を洗練し、絵画的造形要素を表現の意図に沿って適切に用いる個性的な作品制作の能力を養う。	「油絵実習I」、「洋画技法演習」、「油絵実習II-D-1」を履修済みであること
Y219908	卒業研究	8	6.0	4	通年	随時		玉川 信一, 内藤 定壽, 福満 正志郎, 仏山 輝美	専門に関する研究を行い、制作と論文にまとめる。	

美術(日本画)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y240101	日本画概論	1	1.0	1	春AB	火6	5C406	太田 圭, 程塚 敏明	絵画の中でジャンル分けされる「日本画」とは何か。その基本的意味及び特徴等について日本絵画史をたどりながら、技法・材料・概念の変遷を考察し、現代の日本画に対する理解を深める。(スライド・ビデオ使用)	芸術専門学群学生に限る 2018年度限り 主専攻必修科目。GDP
Y240201	日本画技法論	1	1.0	2	春AB	金1	アート&デザイン実習室1	山本 浩之	日本画制作における諸技法と材料について解説する。日本画コース必修。2年次に素描実習II, 日本画基礎実習と平行履修することが望ましい。	主専攻必修科目。
Y240312	日本画鑑賞研究	2	0.5	3	通年	随時		太田 圭	日本画における鑑賞の重要性を説き、古典から現代までの作品を鑑賞・分析する。	主専攻必修科目。
Y240402	日本画技法演習	2	4.0	3	春AB秋BC	金2,3	アート&デザイン実習室1	程塚 敏明, 山本 浩之	日本画は古来より、漆芸等の工芸分野で用いられる箔や砂子等と共通した技法を用いている。本授業では箔の平押しや砂子、各種敷金技法(野毛等)、裏打ち技法、絹染技法等の演習を通して、日本画で使用する絵具をはじめとした各素材と技法の理解を深めるとともに、諸技法についての習熟を図る。この授業を履修するにあたっては、日本画基礎実習を履修済みである事が望ましい。	「日本画基礎実習」を履修済みであること。主専攻必修科目。
Y240483	日本画実習基礎I-1	3	1.5	1	春ABC	金2,3	5C303	山本 浩之, 太田 圭	種々のモチーフの写生をとおして、日本画の基本となるもの見方や、日本画材料の基本的な扱い方を学習する。この授業の受講者は日本画実習基礎IIも履修する事が望ましい。	主専攻必修科目。
Y240493	日本画実習基礎I-2	3	1.5	1	秋ABC	金2,3	5C303	山本 浩之, 太田 圭	種々のモチーフの写生をとおして、日本画の基本となるもの見方や、日本画材料の基本的な扱い方を学習する。この授業の受講者は日本画実習基礎IIも履修する事が望ましい。	「日本画実習基礎I-1」を履修済みであること。主専攻必修科目。
Y240523	日本画実習基礎II	3	1.5	2	通年	水3	6A311, アート&デザイン実習室1	太田 圭, 程塚 敏明	種々のモチーフの写生をする事により、物の見方を追求すると共に、日本画の基礎となる色彩表現力を養う。各テーマ終了後、全教員によりテーマのチェックをし、講評を行う。	「日本画実習基礎I-1,2」を履修済みであること。主専攻必修科目。
Y240563	日本画実習I-A-1	3	1.5	3	春ABC	月2,3	6B403	程塚 敏明	実習を通して、日本画における形態の追求を行い描写力を養う。各テーマ終了後、テーマのチェックと講評を行う。この授業は日本画基礎実習を履修済みの者を対象に開設し、日本画実習I-B・C・Dと密接な関連を持ちながら行うので、それらも合わせて履修する事が望ましい。	「日本画基礎実習1,2」を履修済みであること。主専攻必修科目。
Y240573	日本画実習I-A-2	3	1.5	3	秋ABC	月2,3	6B403	程塚 敏明	実習を通して、日本画における形態の追求を行い描写力を養う。各テーマ終了後、テーマのチェックと講評を行う。この授業は日本画基礎実習を履修済みの者を対象に開設し、日本画実習I-B・C・Dと密接な関連を持ちながら行うので、それらも合わせて履修する事が望ましい。	「日本画基礎実習1,2」、「日本画実習I-A-1」を履修済みであること。主専攻必修科目。
Y240583	日本画実習I-B-1	3	1.5	3	春ABC	火4,5	6B403	太田 圭	実習を通して日本画における空間表現ならびに構図の追求を行い、画面構成力を養う。各テーマ終了後にチェックと講評を行う。この授業は日本画基礎実習を履修済みの者を対象に開設し、日本画実習I-A・C・Dと密接な関連を持ちながら進行するので、それらの授業も合わせて履修する事が望ましい。	「日本画基礎実習1,2」を履修済みであること。主専攻必修科目。
Y240593	日本画実習I-B-2	3	1.5	3	秋ABC	火4,5	6B403	太田 圭	実習を通して日本画における空間表現ならびに構図の追求を行い、画面構成力を養う。各テーマ終了後にチェックと講評を行う。この授業は日本画基礎実習を履修済みの者を対象に開設し、日本画実習I-A・C・Dと密接な関連を持ちながら進行するので、それらの授業も合わせて履修する事が望ましい。	「日本画基礎実習1,2」、「日本画実習I-B-1」を履修済みであること。主専攻必修科目。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
Y240653	日本画実習I-C-1	3	1.5	3	春ABC	木4,5	6B403	山本 浩之	人体モデルのデッサンにより人体美の把握・プロポーション・動き・質感の表現力を養う。またポーズの組合せによる構力や自己の内部表現の訓練を50号より大作に徐々に移行させて行く。この授業は日本画基礎実習の履修者を対象に開設し、日本画実習I-A・B・Dと密接な関連を持ちながら行うので、合わせて履修する事が望ましい。	主専攻必修科目。
Y240663	日本画実習I-C-2	3	1.5	3	秋ABC	木4,5	6B403	山本 浩之	人体モデルのデッサンにより人体美の把握・プロポーション・動き・質感の表現力を養う。またポーズの組合せによる構力や自己の内部表現の訓練を50号より大作に徐々に移行させて行く。この授業は日本画基礎実習の履修者を対象に開設し、日本画実習I-A・B・Dと密接な関連を持ちながら行うので、合わせて履修する事が望ましい。	「日本画基礎実習1,2」、「日本画実習I-C-1」を履修済であること。主専攻必修科目。
Y240673	日本画実習I-D-1	3	1.5	3	春ABC	金4,5	6B403	程塚 敏明	実習を通して、個々の表現意図に沿って用いる手段について学習し、各テーマ終了後、テーマのチェックをし講評を行う。この授業は日本画基礎実習を履修済の者を対象に開設し、日本画実習I-A・B・Cと密接な関連を持ちながら行うので、それらも合わせて履修する事が望ましい。	「日本画基礎実習1,2」を履修済であること。主専攻必修科目。
Y240683	日本画実習I-D-2	3	1.5	3	秋ABC	金4,5	6B403	程塚 敏明	実習を通して、個々の表現意図に沿って用いる手段について学習し、各テーマ終了後、テーマのチェックをし講評を行う。この授業は日本画基礎実習を履修済の者を対象に開設し、日本画実習I-A・B・Cと密接な関連を持ちながら行うので、それらも合わせて履修する事が望ましい。	「日本画実習I-D-1」を履修済であること。主専攻必修科目。
Y240693	日本画実習II-A-1	3	1.5	4	春ABC	月4,5	6B401	山本 浩之	実習を通して風景画を学習し、専門的技術の高度化を図る。各テーマ終了後、テーマのチェックをし講評を行う。この授業は日本画実習II-B・C・Dと密接な関連を持ちながら進行するので、それらも合わせて履修する事が望ましい。	「日本画実習II」 「日本画技法演習」を履修済であること。主専攻必修科目。
Y240703	日本画実習II-A-2	3	1.5	4	秋ABC	月4,5	6B401	山本 浩之	実習を通して風景画を学習し、専門的技術の高度化を図る。各テーマ終了後、テーマのチェックをし講評を行う。この授業は日本画実習II-B・C・Dと密接な関連を持ちながら進行するので、それらも合わせて履修する事が望ましい。	「日本画実習II-A-1」を履修済であること。主専攻必修科目。
Y240753	日本画実習II-B-1	3	1.0	4	春AB	火2,3	6B401	太田 圭, 程塚 敏明	実習を通して専門的技術の高度化を図り、人物画について学習する。各テーマ終了後にチェックの講評を行う。この授業は日本画実習II-A・C・Dと密接な関連を持ちながら進行するので、それらの授業を合わせて履修することが望ましい。	「日本画実習II」 「日本画技法演習」を履修済であること。主専攻必修科目。
Y240763	日本画実習II-B-2	3	1.0	4	秋AB	火2,3	6B401	太田 圭, 程塚 敏明	実習を通して専門的技術の高度化を図り、人物画について学習する。各テーマ終了後にチェックの講評を行う。この授業は日本画実習II-A・C・Dと密接な関連を持ちながら進行するので、それらの授業を合わせて履修することが望ましい。	「日本画実習II」 「日本画技法演習」 「日本画実習II-B-1」を履修済みであること。主専攻必修科目。
Y240773	日本画実習II-C-1	3	1.0	4	春AB	木2,3	6B401	太田 圭	実習を通して専門的技術の高度化を図り、花鳥画について学習する。各テーマ終了後にチェックの講評を行う。この授業は日本画実習II-A・B・Dと密接な関連を持ちながら進行するので、それらの授業を合わせて履修することが望ましい。	「日本画実習II」 「日本画技法演習」を履修済みであること。主専攻必修科目。
Y240783	日本画実習II-C-2	3	1.0	4	秋AB	木2,3	6B401	太田 圭	実習を通して専門的技術の高度化を図り、花鳥画について学習する。各テーマ終了後にチェックの講評を行う。この授業は日本画実習II-A・B・Dと密接な関連を持ちながら進行するので、それらの授業を合わせて履修することが望ましい。	「日本画実習II」 「日本画技法演習」 「日本画実習II-C-1」を履修済みであること。主専攻必修科目。
Y240793	日本画実習II-D-1	3	1.0	4	春AB	金2,3	6B401	程塚 敏明	人体モデルのデッサンを通し自己内部の表現技法の習熟を図り、又日本画材料に対処し得る技術・知識の修得・大画面の制作方法等の指導を目的とする。この授業は日本画実習II-A・B・Cと密接な関連を持ちながら進行するので、それらも合わせて履修することが望ましい。	「日本画実習II」 「日本画技法演習」を履修済であること。主専攻必修科目。
Y240803	日本画実習II-D-2	3	1.0	4	秋AB	金2,3	6B401	程塚 敏明	人体モデルのデッサンを通し自己内部の表現技法の習熟を図り、又日本画材料に対処し得る技術・知識の修得・大画面の制作方法等の指導を目的とする。この授業は日本画実習II-A・B・Cと密接な関連を持ちながら進行するので、それらも合わせて履修することが望ましい。	「日本画実習II」 「日本画技法演習」 「日本画実習II-D-1」を履修済であること。主専攻必修科目。
Y240813	野外風景実習I	3	1.0	2	春B	集中	他	太田 圭, 程塚 敏明, 山本 浩之	学外実習として、約1週間、特定の写生地に宿泊して、風景写生を行う。	日本画コース対象。主専攻必修科目。
Y240823	野外風景実習II	3	1.0	3	春B	集中	他	太田 圭, 程塚 敏明, 山本 浩之	学外実習として、約1週間、特定の写生地に宿泊して、風景表現の実習を行う。	日本画コース対象。「野外風景実習II」を履修済であること。5/28'6/1主専攻必修科目。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y249908	卒業研究	8	6.0	4	通年	随時		太田 圭, 程塚敏明, 山本 浩之	専門に関する研究を行い制作と論文にまとめる。	主専攻必修科目。

美術(彫塑)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y220101	彫塑概論	1	1.0	1	秋AB	金1	5C406	中村 義孝, 大原 央聡	彫塑の意義, 特質その他彫塑全般について専門的立場から, その概要を理論的に説明する。意義については語義から説き, 造形的具体的な面からの説明を加え, その造形性・造形要素等に触れ, 彫塑に対する認識を深める。1年生を主たる対象とするが, 理由があれば他の学年に及ぶのも良い。	芸術専門学群学生に限る 2018年度限り
Y220214	彫塑論・演習I	4	1.0	2	春AB	金1	5C307	中村 義孝, 大原 央聡	彫塑表現について, 主として, 素材論, 技法論の立場から, その性質を説明する。また近現代における彫刻の動向についても学習し, 塑造実習・鑄造実習・テラコッタ実習・に必要な事項についての理解, 及び知識を身につける。	「彫塑概論」を履修していること
Y220224	彫塑論・演習II	4	1.0	2	秋AB	金1	5C307	大原 央聡, 中村 義孝	彫塑表現について, 主として, 素材論, 技法論の立場から, その性質を説明する。また近現代における彫刻の動向についても学習し, 木彫実習・木彫制作に必要な事項についての理解, 及び知識を身につける。	「彫塑論・演習I」を履修していること
Y220453	塑造実習II-A-1	3	1.5	3	春ABC	月2, 3	6A102, 6A103, 5C113	中村 義孝, 大原 央聡	塑造による等身大全身像を制作する。立ちポーズや座りポーズの制作実習を通して, 量塊を決定する面, 量塊の構築性や空間等, 立体の成立に伴う造形要素について理解を深めると共に, 併せて彫塑的立体把握の能力を更に養う。表現力にあっては塑造実習Iで培われたものをより高次なものへと発展させる。	
Y220463	塑造実習II-A-2	3	1.5	3	秋ABC	月2, 3	6A102, 6A103, 5C113	中村 義孝, 大原 央聡	塑造による等身大全身像を制作する。立ちポーズや座りポーズの制作実習を通して, 量塊を決定する面, 量塊の構築性や空間等, 立体の成立に伴う造形要素について理解を深めると共に, 併せて彫塑的立体把握の能力を更に養う。表現力にあっては塑造実習Iで培われたものをより高次なものへと発展させる。	
Y220473	塑造実習II-B-1	3	1.5	3	春ABC	水2, 3	5C113, 6A102, 6A103	中村 義孝, 大原 央聡	塑造実習Iで得た基礎的な形態把握力と表現力をもとに, 人体全身像を対象として, 更に高度な彫塑的立体把握の能力と表現力を養う。特に量の配置と全体の動勢, 量感豊かな表現に重点をおいて学習する。	
Y220483	塑造実習II-B-2	3	1.5	3	秋ABC	水2, 3	6A102, 6A103, 5C113	中村 義孝, 大原 央聡	塑造実習Iで得た基礎的な形態把握力と表現力をもとに, 人体全身像を対象として, 更に高度な彫塑的立体把握の能力と表現力を養う。特に量の配置と全体の動勢, 量感豊かな表現に重点をおいて学習する。	
Y220493	塑造実習II-C-1	3	1.5	3	春ABC	木4, 5	6A102, 6A103, 5C113	中村 義孝, 大原 央聡	人体を表現対象とする人体全身塑造を通して, 彫塑的立体把握の能力を養成すると共に, 塑造実習Iで修得した表現能力をより高次なものへと発展させる。	
Y220503	塑造実習II-C-2	3	1.5	3	秋ABC	木4, 5	6A102, 6A103, 5C113	中村 義孝, 柴田 良貴	人体を表現対象とする人体全身塑造を通して, 彫塑的立体把握の能力を養成すると共に, 塑造実習Iで修得した表現能力をより高次なものへと発展させる。	
Y220553	塑造実習II-D-1	3	1.5	3	春ABC	金4, 5	6A102, 6A103, 5C113	中村 義孝, 大原 央聡	人体全身像を表現対象として, 彫塑的立体把握の能力を養うと共に, 塑造実習Iで得た表現能力をより高次なものへと導く。	
Y220563	塑造実習II-D-2	3	1.5	3	秋ABC	金4, 5	6A102, 6A103, 5C113	中村 義孝, 大原 央聡	人体全身像を表現対象として, 彫塑的立体把握の能力を養うと共に, 塑造実習Iで得た表現能力をより高次なものへと導く。	
Y220573	塑造実習III-A	3	1.5	4	春ABC	月4, 5	5C113, 6A102, 6A103	中村 義孝	塑造実習IIと同様人体全身像を表現対象として等身大作品を制作する。今迄修得した表現力を原点として, 量塊及びその構築性, フォーム等, より高度な彫塑における諸能力, 諸感覚力の伸展を制作を通して総合的に図る。	
Y220583	塑造実習III-B	3	1.5	4	春ABC	火2, 3	6A102, 6A103, 5C113	中村 義孝	塑造実習IIと同様人体全身像を表現対象として等身大作品を制作する。今迄修得した表現力を原点として, 量塊及びその構築性, フォーム等, より高度な彫塑における諸能力, 諸感覚力の伸展を制作を通して総合的に図る。	
Y220593	塑造実習III-C	3	1.5	4	春ABC	木2, 3	6A102, 6A103, 5C113	中村 義孝, 大原 央聡	塑造実習IIで修得した表現力を原点として, 人体全身像制作を通してより高度な彫塑における諸能力, 諸感覚の伸展を図る。	
Y220633	塑造実習III-D	3	1.5	4	春ABC	金2, 3	6A102, 6A103, 5C113	中村 義孝	塑造実習IIで修得した表現力を原点として, 人体全身像制作を通してより高度な彫塑における諸能力, 諸感覚の伸展を図る。	
Y220643	彫刻基礎実習	3	1.5	2	秋ABC	木4, 5	6A114, 6A115	大原 央聡	木材を用いて小品の制作を行う。木彫用具の基本的な使用方法や木彫表現の基礎を体得する。	
Y220733	彫刻実習I-A-1	3	1.5	3	春ABC	木2, 3	6A114, 6A115	大原 央聡	手彫りを主体として木彫の基礎的な感覚と技術を習練する。等身大の胸像を樟材を使って制作し, 木彫表現の可能性を追求する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y220743	彫刻実習I-A-2	3	1.5	3	秋ABC	木2,3	6A114, 6A115	大原 央聡	手彫りを主体として木彫の基礎的な感覚と技術を習練する。彫刻実習I-A-1での制作を基に、さらに木彫表現の可能性を追求する。	
Y220753	彫刻実習I-B-1	3	1.5	3	春ABC	金2,3	芸術 C110	大原 央聡	石彫の基礎的な実習を行う。工具鋼の鍛造による鑿の制作から始めて、ハンド工具により大理石や御影石などの中硬度石の制作実習を行う。	
Y220763	彫刻実習I-B-2	3	1.5	3	秋ABC	金2,3	芸術 C110	大原 央聡	石彫の基礎的な実習を行う。工具鋼の鍛造による鑿の制作から始めて、ハンド工具により大理石や御影石などの中硬度石の制作実習を行う。	
Y220833	彫刻実習II-A	3	1.5	4	春ABC	木4,5	6A114, 6A115, 芸術 C109	大原 央聡	彫刻実習I-AIに引き続き手彫りを主体としながらも一部電動工具も併用し、各種の木材による彫刻表現の可能性を追求する。各自自由に題材を選んで小品を制作することによって、より高度な表現感覚と技術の習練をする。	
Y220843	彫刻実習II-B	3	1.5	4	春ABC	金4,5 集中	芸術 C110	大原 央聡	彫刻実習I-BIに引続いてハンド工具による手彫を主とした実習を行う。大理石、安山岩(小松石)、御影石、斑瀾岩(黒御影石)などの中ブロック石材により石彫表現の可能性をさぐる。直彫りを第一とするが、併せて星取機やコンパスによる複写法の技術も修得し、石彫表現のより高度な技術と感覚を身につける。	
Y220933	鑄造実習I	3	1.5	3	春ABC	火4,5	6A104, 工房 C112	中村 義孝	蠟型石膏鑄造法の基本的な原理を理解し、実際に粘土でレリーフ原型を制作し、鑄造の全工程を体験する。これらの制作を通して立体造形とブロンズの素材とのかかり合いを実感し彫塑の基礎的な感覚と技術を習練する。制作工程の中には、その性質上、時間を振り替えて集中的に行わなければならないことがある。	
Y220943	鑄造実習II	3	1.5	4	秋ABC	月2,3	6A104, 工房 C112	中村 義孝	頭像制作・鑄造の演習を通して、ブロンズの素材を生かした彫塑の表現力を養うとともに、中子を有した蠟型石膏鑄造法の基本的な技法を修得する。制作工程の中には、その性質上、時間を振り替えて集中的に行わなければならないことがある。	
Y221013	彫塑特別実習I	3	1.0	3	通年	随時		中村 義孝, 大原 央聡	彫塑領域における学習研究の成果を展示を通して総合的に検討する。	彫塑コースの学生に限る
Y221023	彫塑特別実習II	3	1.0	4	通年	随時		中村 義孝, 大原 央聡	彫塑領域における学習研究の成果を展示を通して総合的に検討する。	彫塑コースの学生に限る
Y221102	学外演習(彫塑)	2	1.0	3・4	通年	随時		中村 義孝, 大原 央聡	現存する歴史的な作品。あるいは、現代彫刻の作品を、実地に訪ねて研究する。また、そのための予備知識としての資料の収集整理及び結果の報告についても演習する。	彫塑コース対象
Y229908	卒業研究	8	6.0	4	通年	随時		中村 義孝, 大原 央聡	指導教員の下で専門に関する研究を行い制作と論文にまとめる。	

美術(書)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y230101	書概論	1	1.0	1	秋C	火4 集中	5C317	菅野 智明	書の意義や芸術性、中日書道の歴史を概説し、表現・鑑賞など字書の範囲や特性についても講述する。	2018年度限り CDP
Y230211	書鑑賞論I	1	1.5	2	春ABC	火3	6A405	中村 伸夫	書における鑑賞の重要性を説き、中国・日本における鑑賞行為やその歴史・形態について講述する。	
Y230221	書鑑賞論II	1	1.5	2	秋ABC	火3	6A405	中村 伸夫	書における鑑賞の重要性を説き、中国・日本における鑑賞行為やその歴史・形態について講述する。	
Y230311	書学方法論I	1	1.5	3	春ABC	木3	6A405	中村 伸夫	中国書法全般にわたる研究方法について、特に文献・工具書等の活用法という側面に主眼を置いてこれを考える。	
Y230321	書学方法論II	1	1.5	3	秋ABC	木3	6A405	中村 伸夫	中国書法全般にわたる研究方法について、特に文献・工具書の活用法という側面に主眼を置いてこれを考える。	
Y230413	書実習基礎I-1	3	1.5	1	春ABC	水2,3	6A405	中村 伸夫, 森岡 隆	漢字と仮名の古典的名跡を学び、実作面における基礎力の育成をめざす。	
Y230423	書実習基礎I-2	3	1.5	1	秋ABC	水2,3	6A405	中村 伸夫, 森岡 隆	漢字と仮名の古典的名跡を学び、実作面における基礎力の養成をめざす。	
Y230543	書実習基礎II-1	3	1.5	2	春ABC	火4,5	6A403	中村 伸夫, 菅野 智明	中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	
Y230553	書実習基礎II-2	3	1.5	2	秋ABC	火4,5	6A403	中村 伸夫, 菅野 智明	中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	
Y230653	書実習漢字制作A-1	3	1.5	2・3	春ABC	木4,5	6A405	中村 伸夫	中国書法史の古典的明遺品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	西暦偶数年度開講 西暦奇数年度開講
Y230663	書実習漢字制作A-2	3	1.5	2・3	秋ABC	木4,5	6A405	中村 伸夫	中国書法史の古典的明遺品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	西暦偶数年度開講
Y230673	書実習漢字制作B-1	3	1.5	2・3					中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	西暦奇数年度開講
Y230683	書実習漢字制作B-2	3	1.5	2・3					中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	西暦奇数年度開講
Y230693	書実習漢字制作C-1	3	1.5	4	春ABC	水1,2	6A403	中村 伸夫	中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	
Y230703	書実習漢字制作C-2	3	1.5	4	秋ABC	水1,2	6A403	中村 伸夫	中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	
Y230743	書実習仮名制作A-1	3	1.5	2・3	春ABC	金1,2	6A404	森岡 隆	代表的な古筆の臨書・做書を通して仮名技法と構成美を学び、あわせて大字作品への展開を図る。	西暦偶数年度開講
Y230753	書実習仮名制作A-2	3	1.5	2・3	秋ABC	金1,2	6A404	森岡 隆	代表的な古筆の臨書・做書を通して仮名技法と構成美を学び、あわせて大字作品への展開を図る。	西暦偶数年度開講
Y230763	書実習仮名制作B-1	3	1.5	2・3					代表的な古筆の臨書・做書を通して仮名技法と構成美を学び、あわせて大字作品への展開を図る。	西暦奇数年度開講
Y230773	書実習仮名制作B-2	3	1.5	2・3					代表的な古筆の臨書・做書を通して仮名技法と構成美を学び、あわせて大字作品への展開を図る。	西暦奇数年度開講

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
Y230783	書実習仮名制作C-1		3	1.5	4	春ABC	木3,4	6A404	森岡 隆	古典を自由に選択することにより、自己の作風の拡充に努める。	
Y230793	書実習仮名制作C-2		3	1.5	4	秋ABC	木3,4	6A404	森岡 隆	古典を自由に選択することにより、自己の作風の拡充に努める。	
Y230812	学外演習(書)A		2	1.5	1-4				博物館、美術館で書作品などを鑑賞し、教養を深める。	書コース対象 西暦奇数年度開講。	
Y230822	学外演習(書)B		2	1.5	1-4	通年	随時	中村 伸夫, 森岡隆, 菅野 智明	博物館、美術館で書作品などを鑑賞し、教養を深める。	書コース対象 西暦偶数年度開講。	
Y239908	卒業研究		8	6.0	4	通年	随時	中村 伸夫, 森岡隆, 菅野 智明	専門に関する研究を行い、制作と論文にまとめる。		

美術(特別カリキュラム「版画」)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
Y251001	版画概論		1	1.0	1	春AB	火2	5C316	田島 直樹	版画を理解する上で重要な技法についての概説。版画の基本的4版種について、その発生、原理、制作手順、作品例をスライド等を用いて解説する。	2018年度限り GDP
Y251202	リトグラフ演習		2	2.0	2・3	春C 春季休業中	集中	6A105	鈴木 康弘	リトグラフのさまざまな技法を集中的に演習する。	「版画基礎実習」履修者のみ受講可。 西暦偶数年度開講。
Y251323	版画実習A-1		3	1.5	3	春ABC	水2,3	6A105, 芸術C204	田島 直樹	複数の版のかけ合わせによる版画制作。木版画の実習を行う。色の摺り重ねによって絵を作るため、そのメカニズムの理解が大切になる。	継続して「版画実習A-2」を履修可能な者のみ受講可。「版画基礎実習」を履修しておくことが望ましい。
Y251333	版画実習A-2		3	1.5	3	秋ABC	水2,3	6A105, 芸術C204	田島 直樹	複数の版のかけ合わせによる版画制作。スクリーンプリントとリトグラフの実習を行う。色の摺り重ねによって絵を作るため、そのメカニズムの理解が大切になる。	「版画実習A-1」を履修済みのこと。
Y251343	版画実習B-1		3	1.5	3	春ABC	木2,3	芸術C204	田島 直樹	銅版画の技法は他の版画に比較して、多岐にわたり奥深い。さまざまな銅版画の技法を学ぶことにより、技術の修得のみならず、技法によってイメージを触発され、新しい表現へと向かわしめることを期す。	継続して「版画実習B-2」を履修可能な者のみ受講可。「版画基礎実習」を履修しておくことが望ましい。
Y251353	版画実習B-2		3	1.5	3	秋ABC	木2,3	芸術C204	田島 直樹	銅版画の技法は他の版画に比較して、多岐にわたり奥深い。さまざまな銅版画の技法を学ぶことにより、技術の修得のみならず、技法によってイメージを触発され、新しい表現へと向かわしめることを期す。秋学期は各自技法を選び、テーマを設定して自主制作するが、どちらかと言えば技法に触発された表現を期待したい。	「版画実習B-1」を履修済みのこと。
Y251432	版画演習A		2	3.0	4	春ABC	木4,5	芸術C204	田島 直樹	銅版画の技法中、版に直接描くドライポイント技法と、時間と忍耐を要するメゾチント技法を演習する。	「特別カリキュラム版画」対象授業
Y251442	版画演習B		2	3.0	4	秋ABC	木4,5	芸術C204	田島 直樹	各自、版画技法のうちから、自分に合った技法を選び、テーマを設定する。制作のスケジュール表を作成、提出し、スケジュールに沿った作品を提出する。	版画演習Aを履修済みのこと。
Y251502	学外演習(版画)		2	1.0	3・4	通年	随時	田島 直樹	版画制作に必要な不可欠なプロセス・素材について、学外の美術館・博物館や紙漉き場等でのワークショップに参加し、実体験を通して学習する。また、学外において展示会を開催し、作品の成果発表を行う。	「特別カリキュラム版画」対象	
Y251613	版画実習C		3	1.5	3・4				各履修者が自ら版種を選択し、30部前後の摺刷を行ったものをまとめて版画集を作る。画集としての形態やフォーマットに関するプレゼンテーション、函の作成や装丁の作業等を共同作業で行う。	「版画基礎実習」履修者のみ受講可。 西暦奇数年度開講。	
Y259908	卒業研究		8	6.0	4	通年	随時	田島 直樹	専門に関する研究を行い、制作と論文にまとめる。	「特別カリキュラム版画」対象	

構成(必修科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
Y610101	総合造形概論		1	1.0	1	春AB	木2	5C317	國安 孝昌	総合造形入門講座。スライド等用いながら、その概要を講義する。	2018年度限り 主専攻必修科目。 GDP
Y610201	クラフト概論		1	1.0	1	秋AB	木2	5C407	齋藤 敏寿	人類がモノを創造してきた歴史的背景からの洞察を加えながら、クラフト(工芸的造形)の特性、意匠、機能、材料等の基礎的な成り立ちについて陶磁を中心に概説する。	2018年度限り 主専攻必修科目。 GDP
Y610301	構成概論		1	1.0	1	春AB	水2	5C316	山本 早里	構成の成立した背景と発展及び現代のアートやデザインとの関わりを造形の諸要素や秩序、表現性から捉え構成学を概説する。	2018年度限り 主専攻必修科目。 GDP
Y610401	ビジュアルデザイン概論		1	1.0	1	秋AB	水2	5C213	田中 佐代子	タイポグラフィ、エディトリアルデザイン、広告デザインなど、現代のビジュアルデザインに関する基本的な知識を、様々な事例を紹介しながらわかりやすく講述する。	2018年度限り 主専攻必修科目。 GDP
Y610511	構成オムニバス講座I		1	1.5	1	春ABC	金1	5C203	國安 孝昌, 齋藤敏寿, 田中 佐代子, 原 忠信, 宮原 克人, 山本早里, 小野 裕子, 上浦 佑太, 鄭 然暉, 村上 史明, 山本 美希	構成専攻の諸領域を紹介する意味で、全教員がそれぞれの研究内容について論じる。	主専攻必修科目。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
Y610521	構成オムニバス講座II	1	1.5	1	秋ABC	金1	5C203	國安 孝昌, 齋藤敏寿, 田中 佐代子, 原 忠信, 宮原 克人, 山本早里, 小野 裕子, 上浦 佑太, 鄭 然暎, 村上 史明, 山本 美希	構成専攻の諸領域を紹介する意味で, 全教員がそれぞれの研究内容について論じる。	主専攻必修科目。
Y610602	学外演習	2	1.0	3	通年	随時		國安 孝昌, 齋藤敏寿, 田中 佐代子, 原 忠信, 宮原 克人, 山本早里, 小野 裕子, 上浦 佑太, 鄭 然暎, 村上 史明, 山本 美希	美術館, 博物館, 工房, 各種企業などを訪ねて見学・演習を行う。	主専攻必修科目。 GDP
Y619908	卒業研究	8	6.0	4	通年	随時		國安 孝昌, 齋藤敏寿, 田中 佐代子, 原 忠信, 宮原 克人, 山本早里, 小野 裕子, 上浦 佑太, 鄭 然暎, 村上 史明, 山本 美希	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる	主専攻必修科目。

構成(選択必修科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
Y620111	現代美術論A	1	1.0	3・4	春AB	水3	5C406	國安 孝昌	現代美術入門講座。様々な発展する現代芸術の歴史と理論を考察する。	
Y620121	現代美術論B	1	1.0	3・4	秋AB	水3	5C406	國安 孝昌	現代美術入門講座。様々な発展する現代芸術の歴史と理論を考察する。	
Y620212	総合造形創作演習A-I	2	1.5	2	春ABC	火3	5C205	小野 裕子	総合造形の観点から、ドローイング、コラージュなどによる平面表現から発想を養い、作品制作を行う。	
Y620222	総合造形創作演習A-II	2	1.5	2	秋ABC	火3	5C205	小野 裕子	総合造形の観点から、樹脂素材を用いて立体造形の作品制作を行う。	
Y620413	総合造形基礎実習I	3	1.5	2	春ABC	火4,5	工房G113	國安 孝昌	総合造形の視点に立って造形の基礎的トレーニングとしての制作を行う。	
Y620423	総合造形基礎実習II	3	1.5	2	秋ABC	火4,5	工房G113	國安 孝昌	総合造形の視点に立って造形の基礎的トレーニングとしての制作を行う。	
Y620501	木材造形論	1	1.0	2	秋AB	木5	5C406	宮原 克人	クラフトの分野で従来から活用されてきた造形素材のうち、木と漆を中心に取り上げて概説する。	
Y620612	陶磁基礎演習	2	1.0	2・3	通年	随時	5C111	齋藤 敏寿	クラフト基礎実習(陶磁)で学んだ制作技法を活用し自主的な陶磁制作を行うための演習を行う。特に焼成窯の使用方法を習得する。	授業時間以外に窯焼成等(温度管理)の時間を確保できること。
Y620622	ガラス技法演習	2	1.0	3・4	春AB	火3	工房G102	鄭 然暎	素材(ガラス)の特性を理解した上で、石膏型の様々な原型作成法を習得する。	初回ガイダンスに不参加の場合、履修不可。クラフト基礎実習(ガラス)I, IIを履修済みのこと。平成29年度以降入学者に限る。
Y620723	クラフト基礎実習(陶磁)I	3	1.0	2	春AB	月4,5	5C111	齋藤 敏寿	陶磁制作の基礎的知識・技術を修得する。	授業時間以外に窯焼成等(温度管理)の時間を確保できること。
Y620733	クラフト基礎実習(陶磁)II	3	1.0	2	秋AB	月4,5	5C111	齋藤 敏寿	陶磁制作の基礎的知識・技術を修得する。	授業時間以外に窯焼成等(温度管理)の時間を確保できること。
Y620743	クラフト基礎実習(木工)I	3	1.0	2	春AB	月4,5	アート&デザイン実習室2	宮原 克人	木工制作の基礎的知識・技術を修得する。	
Y620753	クラフト基礎実習(木工)II	3	1.0	2	秋AB	月4,5	アート&デザイン実習室2	宮原 克人	木工制作の基礎的知識・技術を修得する。	
Y620763	クラフト基礎実習(ガラス)I	3	1.0	2	春AB	月4,5	工房G102	鄭 然暎	ガラス制作の基礎的知識・技術を修得する。	
Y620773	クラフト基礎実習(ガラス)II	3	1.0	2	秋AB	月4,5	工房G102	鄭 然暎	ガラス制作の基礎的知識・技術を修得する。	
Y620901	色彩学	1	1.0	2	春AB	火2	5C213	山本 早里	色彩学の基礎を学ぶ。色がみえるしくみ、表色系、心理効果、調和論などを概説する。	
Y621101	造形発想論	1	1.0	2・3	秋BC	金3	5C406	上浦 佑太	創作の基礎的問題として重要な発想、創造性、構想力などに関する講義。	
Y621122	平面構成演習	2	1.0	2						2018年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	
Y621132	立体構成演習		2	1.0	2	秋AB	金6	5C203	上浦 佑太	造形表現に共通する要素を、形態、材料、技法の各方面から研究し、主に幾何学的抽象形態を利用した制作を通じて立体的な構成力を養う。	
Y621202	平面構成演習		2	1.0	2	春AB	金6	5C203	上浦 佑太	造形表現に共通する要素を、形態、材料、技法の各方面から研究し、主に幾何学的抽象形態を利用した制作を通じて平面的な構成力を養う。	
Y621511	コンピュータアートI		1	1.5	2・3	春ABC	水3	学術情報メディアセンター A203	村上 史明	プログラミングを用いた造形理論及び図形処理技術を学び、インタラクティブアートの制作を行う。	コンピュータアートIIと併せて履修すること。
Y621521	コンピュータアートII		1	1.5	2・3	秋ABC	水3	学術情報メディアセンター A203	村上 史明	プログラミングを用いた造形理論及び図形処理技術を学び、インタラクティブアートの制作を行う。	コンピュータアートIと併せて履修すること。
Y621701	画像論		1	1.0	2・3	秋AB	金2	6A208-1, 6A208-2	山本 美希	画像(絵・ビジュアル)の特質、それによる表現・伝達の意義・可能性について、事例を紹介しつつ考える。	
Y621852	構成基礎演習I-1		2	1.0	1	春A	金2,3	5C203	上浦 佑太	構成専攻の専門基礎として、表現力や造形思考を養うための課題制作を通して平面表現および立体表現の基礎力を身につける。	
Y621862	構成基礎演習I-2		2	1.0	1	春B	金2,3	5C203	田中 佐代子	構成専攻の専門基礎として、表現力やデザイン思考を養うための課題制作を通して図解表現、ロゴタイプ表現の基本を習得する。	
Y621872	構成基礎演習II-1		2	1.0	1	秋A	金2,3	5C203	上浦 佑太	構成専攻の専門基礎として、表現力や造形思考を養うための課題制作を通して平面表現および立体表現の基礎力を身につける。	
Y621882	構成基礎演習II-2		2	1.0	1	秋B	金2,3	5C203	原 忠信	構成専攻の専門基礎として、欧文タイポグラフィの課題制作を通してデザインシステムの考え方や表現方法を学ぶ。	
Y621912	構成特別演習I		2	1.5	3	春ABC秋A	随時		國安 孝昌, 齋藤敏寿, 田中 佐代子, 原 忠信, 宮原 克人, 山本 早里, 小野 裕子, 上浦 佑太, 鄭 然暲, 村上 史明, 山本 美希	これまでに修得した構成の理論と実技を総合し、各自のテーマに基づいた発展的演習を行う。	構成専攻必修
Y621922	構成特別演習II		2	1.5	3	秋BC	随時		國安 孝昌, 齋藤敏寿, 田中 佐代子, 原 忠信, 宮原 克人, 山本 早里, 小野 裕子, 上浦 佑太, 鄭 然暲, 村上 史明, 山本 美希	これまでに修得した構成の理論と実技を総合し、各自のテーマに基づいた発展的演習を行う。	構成専攻必修

構成(選択科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	
Y630101	メディア・アート論		1	1.0	3	春AB	木2	5C205	村上 史明	最先端のテクノロジーを使用した芸術作品の解説を行い、芸術と科学技術との関係について考察する。	
Y630312	総合造形表現演習I		2	1.5	2・3	春ABC	木4	5C205	國安 孝昌	表現の可能性をさぐる課題制作を各学期ごとのテーマにそって行う。	
Y630322	総合造形表現演習II		2	1.5	2・3	秋ABC	木4	5C205	國安 孝昌	表現の可能性をさぐる課題制作を各学期ごとのテーマにそって行う。	
Y630422	総合造形創作演習B		2	1.0	3	春AB	火2	5C205	小野 裕子	総合造形的な視点を基に、特殊メイクによる身体造形を行い、その身体を用いて映像と写真による作品制作を行う。	人数制限あり(25名)。
Y630522	展示造形・パフォーマンスI		2	1.5	4	春ABC	水2	5C205	國安 孝昌, 村上 史明, 小野 裕子	身体による芸術表現としてのパフォーマンスを研究し発表する。	
Y630532	展示造形・パフォーマンスII		2	1.5	4	秋ABC	水2	5C205	國安 孝昌, 村上 史明, 小野 裕子	身体による芸術表現としてのパフォーマンスを研究し発表する。	
Y630542	総合造形メディア・アート演習		2	1.5	3・4	春ABC	木3	6A204	村上 史明	メディアアート作品、映像作品の制作を行う。	
Y630601	クラフト特講		1	1.0	1・2					クラフト領域での重要な素材について演習する。	掲示を確認し、初期ガイダンスに参加すること 西暦奇数年度開講。
Y630701	ニューメディアと環境芸術		1	1.0	2・3	秋AB	火2	5C205	小野 裕子	環境における芸術を模索し、その場所性を生かして、各自の表現による作品制作と展覧会を実施する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y630733	ガラス実習I	3	1.0	3	春AB	火1,2		鄭 然暲	素材を扱うための基礎的な技法を発展させ、素材の特徴を引き出し作品制作をする。	初回ガイダンスに不参加の場合、履修不可。クラフト基礎実習(ガラス)I, IIを履修済みのこと。ガラス実習IIと併せて受講のこと。時間外に窯管理あり。
Y630743	ガラス実習II	3	1.0	3	秋AB	火1,2		鄭 然暲	ガラス実習Iで修得した技法を生かし各自テーマを決め、自由制作を行う。	ガラス実習IIを履修済みのこと
Y630802	陶磁演習	2	2.0	4	春AB	水2,3	5C111	齋藤 敏寿	素材、技法、プロセス、造形論等、陶磁制作の総合的な演習を行う。	焼成窯管理等自主的に行う事。芸術系棟B-138齋藤敏寿研究室にて授業を行う。
Y630923	陶磁実習A-1	3	1.0	3・4					土(粘土)から陶磁へ至る基礎的な技法・技術(石膏型による成形方法)を基に陶磁素材の特長を活かした作品を制作する。	西暦奇数年度開講。作品の焼成管理を自主的に行うこと。
Y630933	陶磁実習A-2	3	1.0	3・4					土(粘土)から陶磁へ至る基礎的な技法・技術・装飾(釉薬研究)を基に陶磁素材の特長を活かした作品を制作する。	西暦奇数年度開講。
Y630943	陶磁実習B-1	3	1.0	3・4	春AB	火4 火5	5C111	齋藤 敏寿	土(粘土)から陶磁へ至る、応用的な技法・技術・装飾技法を基に陶磁素材の特長を活かした作品を制作する。	西暦偶数年度開講。
Y630953	陶磁実習B-2	3	1.0	3・4	春C 秋AB	集中	5C111	齋藤 敏寿	土(粘土)から陶磁へ至る、応用的な技法・技術・装飾(釉薬研究)を基盤にし陶磁素材の特長を活用した作品を制作する。	西暦偶数年度開講。
Y631012	木工演習I	2	1.0	4	春AB	水1	芸術C101	宮原 克人	各自がテーマを設定し、木材造形の可能性を探る。	
Y631022	木工演習II	2	1.0	4	秋AB	水1	芸術C101	宮原 克人	各自のテーマについて探求し、これまで習得した知識と技術を総合的に活用した制作を行う。	
Y631123	木工実習I	3	1.0	3	春AB	月1,2	芸術C101	宮原 克人	木工における、手工具と工作機械の効果的な活用方法を習得する。	
Y631133	木工実習II	3	1.0	3	秋AB	月1,2	芸術C101	宮原 克人	椅子など生活用具の制作を通して、木工の技術を習得する。	
Y631211	造形心理学	1	1.0	2-4	秋AB	水2	5C506	山本 早里	造形創作および鑑賞の手がかりとして重要な感覚・知覚心理学的知見に関して、視覚を中心に講義する。また、心理評価の計測手法などにも触れる。	
Y631232	平面構成総合演習	2	1.5	3	春ABC	木4	6A203	上浦 佑太	素材の選択や扱い方に着目して実験的姿勢で平面表現の可能性を追求する展開力を身につける。	
Y631332	立体構成総合演習	2	1.5	3	秋ABC	木4	6A207	上浦 佑太	素材の選択や扱い方に着目して実験的姿勢で平面表現の可能性を追求する展開力を身につける。	
Y631412	色彩構成演習I	2	1.0	2	春AB	木2	5C203	山本 早里	色彩の科学的システムと感覚的側面からの基礎的な演習を行い、色彩の感情効果とその応用を習得する。	
Y631422	色彩構成演習II	2	1.0	2	秋AB	木2	5C203	山本 早里	色彩の科学的システムと感覚的側面からの基礎的な演習を行い、色彩の感情効果とその応用を習得する。	
Y631722	ナラティブイラストレーション演習	2	1.5	2	春ABC	金2	6A208-1, 6A208-2	山本 美希	複数の画像の連続によって内容を伝達・表現する、ナラティブなイラストレーションについて課題制作を通して学ぶ。	2015年度まで隔年開講だったが2016年度より毎年開講。
Y631842	印刷・製本演習	2	3.0	3	秋ABC	金4,5	工房C203	山本 美希	印刷表現の基礎および洋本ハードカバーなどの造本の基礎について、課題制作を通して学ぶ。	人数制限あり(30名)。H29までの「造本製本演習」の内容を含む。初回ガイダンスに不参加の場合は履修不可。授業時間より作業時間が延長することがあるため、その時間を確保できること。受講希望者が多い場合、ビジュアルデザイン領域の学生・上級生を優先。
Y631852	ビジュアルストーリー創作演習	2	1.0	3・4	夏季休業中	集中	6A208-1	山本 美希	画像表現によるストーリーの創作方法について、討議や課題制作を通じて学ぶ。物語表現に必要な知識と構成力を身につける。ゼミ形式で参加者のプレゼンテーションと相互の意見交換を重視する。	人数制限あり(25名)。4月のガイダンスに不参加の場合、履修不可。「ナラティブイラストレーション演習」を履修済みであることが望ましい。
Y631901	ビジュアルデザインシンキング	1	1.0	2	春AB	木5	6A208-1, 6A208-2	原 忠信	ビジュアルデザイン領域において必要な発想法やデザイン方法について、ワークショップ・ディスカッション・プレゼンテーションなど参加型の授業にて学習する。	「ビジュアルデザイン概論」を履修した学生に限る。2014年度までの「ビジュアルコミュニケーション論」に相当。
Y632032	ビジュアルデザイン演習A	2	1.5	2	春ABC	月3	5C203	田中 佐代子	ポスターデザインや雑誌表紙デザインの課題制作を通して、ビジュアルデザインの基本を習得する。	
Y632042	ビジュアルデザイン演習B	2	1.5	2	秋ABC	月3	6A208-1, 6A208-2	原 忠信	ビジュアルデザインにおいて、アイデアをカタチにするための方法を実践的課題を通じて学ぶ。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y632112	エディトリアル・広告デザイン演習	2	1.5	3・4	秋ABC	木5		田中 佐代子	エディトリアルデザインと広告デザインに必要な知識、技術、表現力を、演習課題を通して学ぶ。	
Y632502	グラフィックデザイン特別演習	2	1.0	3・4	夏季休業中	集中		原 忠信	学外からデザイナー等を講師として招き、実践的活動を踏まえたグラフィックデザインの発想、制作、評価などについて学ぶ。	西暦偶数年度開講。
Y632602	クラフト演習I	2	1.0	3・4	通年	随時	芸術C102	齋藤 敏寿, 宮原 克人, 鄭 然暲	クラフト領域の理論と実技を統合し各自のテーマに基づいた演習を行う。	クラフト領域学生は必修。西暦偶数年度開講。クラフト領域授業成果展などの企画、運営を行う。
Y632612	クラフト演習II	2	1.0	3・4					クラフト領域の理論と実技を統合し各自のテーマに基づいた演習を行う。	クラフト領域学生は必修。西暦奇数年度開講。クラフト領域授業成果展の企画、運営を行う。西暦奇数年度開講。クラフト領域授業成果展の企画、運営を行う。
Y632702	ロクロ技法演習	2	2.0	2・3	春BC秋A	集中	5C111	齋藤 敏寿	基礎的なロクロ制作技術を習得する為の演習を行う。	授業時間以外に窯焼成等(温度管理)の時間を確保できること。人数制限あり24名まで。
Y632802	漆芸技法演習	2	2.0	3・4	通年	随時	芸術C101	宮原 克人	漆芸の基礎的な技術を習得する。	クラフト基礎実習を履修していること。
Y632912	パッケージデザイン・ブランド構築演習	2	1.5	3・4	春ABC	火6		原 忠信	実践的な制作課題を通じてパッケージデザイン、および、ブランド構築の方法と技術を学ぶ。	「ビジュアルデザイン演習」を履修していること。
Y633032	ガラス演習	2	2.0	4	通年	随時		鄭 然暲	各自の研究テーマに基づきガラス造形の可能性について総合的な演習を行う。	
Y633042	ガラス技法演習	2	1.0	3・4	春AB	火3	工房C102	鄭 然暲	素材(ガラス)の特性を理解した上で、石膏型の様々な原型作成法を習得する。	履修条件:初回のガイダンスに不参加の場合、履修不可。クラフト基礎実習(ガラス)I・IIを履修済みのこと。平成28年度以前の入学者に限る。平成28年度以前入学者に限る。
Y635102	創造的復興:ローカルデザイン演習I	2	2.0	3	春AB	金3,4	6A208-1, 6A208-2	齋藤 敏寿, 宮原 克人, 原 忠信, 村上 史明, 鄭 然暲	創造的復興の視点から、地域再生に向けたプランを計画・提案する。その中で、歴史・文化的な資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興に必要な視点を学習する。	「創造的復興:チャレンジ学外演習I」と併せて履修すること。
Y635202	創造的復興:チャレンジ学外演習I	2	2.0	3	通年	随時	6A208-1, 6A208-2	齋藤 敏寿, 宮原 克人, 原 忠信, 村上 史明, 鄭 然暲	地域に滞在し、地域再生に向けたプランを実施する。その中で、歴史・文化的な資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興に必要な視点や方法を経験的に習得する。	
Y635302	サイエンスビジュアルゼーション演習	2	1.0	3・4	夏季休業中	集中	5C513	田中 佐代子, 和田 洋, 渡辺 政隆, 八木 勇治, 小林 麻己人, 三輪 佳宏	サイエンスを視覚的・効果的に表現することを目的とする。主にAdobe Illustratorを用いてイラストレーションを制作する。	夏季休業中に開講予定。HE20142と同一を制作する。
Y635412	ハイブリッドアート演習	2	1.5	3・4	秋ABC	木3	6A204	村上 史明	異分野の学生同士のコラボレーションにより、映像やインタラクティブアートの要素を含めた、メディアアート作品の提案・提示を行う。	2015年度までの「創造的復興:ハイブリッドアート演習」に相当。
Y635502	創造的復興:ローカルデザイン演習II	2	2.0	4	春AB	金3,4	6A208-1, 6A208-2	齋藤 敏寿, 宮原 克人, 原 忠信, 村上 史明, 鄭 然暲	創造的復興の視点から、地域再生に向けたプランを計画・提案する。その中で、歴史・文化的な資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興に必要な視点を学習する。	「創造的復興:チャレンジ学外演習II」と併せて履修すること。
Y635602	創造的復興:チャレンジ学外演習II	2	2.0	4	通年	随時	6A208-1, 6A208-2	齋藤 敏寿, 宮原 克人, 原 忠信, 村上 史明, 鄭 然暲	地域に滞在し、地域再生に向けたプランを実施する。その中で、歴史・文化的な資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興に必要な視点や方法を経験的に習得する。	

デザイン(必修科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y710102	デザイン基礎演習1	2	2.0	1	春AB	金1,2	5C206	内山 俊朗	立体造形物の表示並びにプレゼンテーションの基礎についての演習を行う。	芸術専門学群生に限る。デザイン専攻志望者向け専門科目
Y710112	デザイン基礎演習2	2	2.0	1	秋AB	金1,2	5C206	貝島 桃代	建築の基礎となる木造/鉄骨造/RC造の戸建住宅の設計についての演習を行う。	デザイン専攻志望者向け専門科目
Y710132	デザイン技法演習1	2	1.0	1	春C	金1,2	5C206	渡 和由	景観に配慮した建築・都市空間の計画・設計・表現の基礎についての演習。	2019年度以降開講せず
Y710142	デザイン技法演習2	2	1.0	1	秋C	金1,2	5C206	山田 博之	スケッチ、作図の基本テクニックを体得し、魅力的なプレゼンテーション表現についての演習を行う。	2019年度以降開講せず
Y710232	デザイン演習1	2	1.0	2	春A	木4,5	6A306, 6A308	渡 和由	情報・プロダクト・環境・建築の各デザイン分野の基礎について、デザイン演習1具では、関連する各種建築物の設計を含めた公園の課題を通して演習を行う。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y710242	デザイン演習2	2	1.0	2	春B	木4,5	6A306, 6A308	花里 俊廣	情報・プロダクト・環境・建築の各デザイン分野の共通の基礎について、具体的課題のもとで演習を行う。	
Y710252	デザイン演習3	2	1.0	2	春C	木4,5	6A306, 6A308	五十嵐 浩也, 貝島 桃代, 小山 慎一	デザインの実践的課題を設定し、コンセプト立案からモデル試作までのデザイン制作の演習を行う。	
Y710262	デザイン演習4	2	1.0	2	秋A	木4,5	6A306, 6A308	山田 博之	デザインの実践的課題を設定し、コンセプト立案からモデル試作までのデザイン制作の演習を行う。	
Y710272	デザイン演習5	2	1.0	2	秋B	木4,5	6A306, 6A308	李 昇姫, 加藤 研	情報・プロダクト・環境・建築の各デザイン分野の共通の基礎について、具体的課題のもとで演習を行う。	
Y710282	デザイン演習6	2	1.0	2	秋C	木4,5	6A306, 6A308	野中 勝利, 橋本 剛	情報・プロダクト・環境・建築のデザイン分野の基礎について、関連する各種建築物の設計を含めた広場の課題を通して演習を行う。	
Y710301	情報・プロダクトデザイン概論	1	1.0	1	秋AB	水2	5C507	山中 敏正	デザインを人間性の源に存在するデザインマインドから生じるものと捉え、デザインの概念、適用範囲、経済社会との関係、について概説する。特に、情報デザインの観点から、コミュニケーションや道具やシステムの操作、また、製造物の設計や製造物を通じたデザイナーと社会の関わりについて、デザインの様々な事例を取り上げ、文化的側面と技術的側面から、その概念と今日の課題についても講述する。	2018年度限り GDP
Y710401	建築デザイン概論	1	1.0	1	秋AB	金3	5C307	花里 俊廣	建築デザインに関する基礎的な理解を促すために、様々な空間を具体的に取り上げ、人々による、それぞれの空間の使い方の特徴について学ぶ。	2018年度限り GDP
Y710501	環境デザイン概論	1	1.0	1	春AB	金3	5C216	野中 勝利, 渡 和由	人間を取り巻く生活空間を包括的に対象とする環境デザインについて、その成り立ち、対象、範囲、背景、設計、計画の方法などについて総合的に講述する。	2018年度限り GDP
Y711012	デザイン特別演習1	2	2.0	4	春AB	木1,2	6A302, 6A303, 6A308	五十嵐 浩也, 野中 勝利, 花里 俊廣, 山中 敏正, 李 昇姫, 内山 俊朗, 貝島 桃代, 橋本 剛, 渡 和由, 加藤 研, 山田 博之	デザインに係わる諸問題を、卒業研究を進めながら主体的に考察することにより、デザインについての理解を深めることを目的とする。ゼミナール形式の授業において各自の発表とそれに対する討論を基本とする。	
Y711022	デザイン特別演習2	2	2.0	4	秋AB	木1,2	6A302, 6A303, 6A308	五十嵐 浩也, 野中 勝利, 花里 俊廣, 山中 敏正, 李 昇姫, 内山 俊朗, 貝島 桃代, 橋本 剛, 渡 和由, 加藤 研, 山田 博之	デザインに係わる諸問題を、卒業研究を進めながら主体的に考察することにより、デザインについての理解を深めることを目的とする。ゼミナール形式の授業において各自の発表とそれに対する討論を基本とする。	
Y719908	卒業研究	8	6.0	4	通年	随時		五十嵐 浩也, 野中 勝利, 花里 俊廣, 山中 敏正, 李 昇姫, 内山 俊朗, 貝島 桃代, 橋本 剛, 渡 和由, 加藤 研, 山田 博之	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	

デザイン(選択必修科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y730402	情報・プロダクトデザイン演習1	2	3.0	3	春AB	金4-6	6A302, 6A303, 6A308	五十嵐 浩也, 山田 博之	情報・プロダクトデザインに関わる特定課題に基づく演習。複数の課題から選択して演習を行う。	
Y730412	環境・建築デザイン演習1	2	3.0	3	春AB	金4-6	6A302, 6A303, 6A308	野中 勝利, 花里 俊廣	集合住宅に関する計画・設計、文化施設の建築設計を含む都市公園のデザインに関する計画・設計の演習を行う。	
Y730502	情報・プロダクトデザイン演習2	2	3.0	3	春C 夏季休業中	金4-6 随時	6A302, 6A303, 6A308	山中 敏正	情報・プロダクトデザインに関わる特定課題に基づく演習。複数の課題から選択して演習を行う。	
Y730512	環境・建築デザイン演習2	2	3.0	3	春C 夏季休業中	金4-6 随時	6A302, 6A303, 6A308	渡 和由, 貝島 桃代	大規模複合施設(集合施設、ショッピングモール等の商業施設、宿泊施設、美術館、体育館等の遊戯施設、集合施設、戸建住宅などの複合施設)に関する計画・設計の演習。	
Y730602	情報・プロダクトデザイン演習3	2	3.0	3	秋AB	金4-6	6A302, 6A303, 6A308	小山 慎一, 李 昇姫	情報・プロダクトデザインに関わる特定課題に基づく演習。複数の課題から選択して演習を行う。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
Y730612	環境・建築デザイン演習3	2	3.0	3	秋AB	金4-6	6A302, 6A303, 6A308	加藤 研	公共建築に関する計画・設計の演習を行う。	

デザイン(選択科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
Y720101	人間工学	1	1.0	2	秋AB	金3	5C416	小山 慎一	デザインの最終的な対象は人間である。人間の基本的性質である、生体構造の特徴、生体や行動計測の方法、生理反応の特徴や環境と人間のインタラクション、などに関して講述し、デザインの基本である人間情報の取り扱い方を学ぶ。	デザイン及び芸術表現を学ぶ学生を対象とするものであり、生理学、解剖学、医学などを専門とする学生は対象としない。
Y720201	感性デザイン学	1	1.0	2	春AB	火3	5C406	李 昇姫	感性は、誰もが持っている前意識的な心の機能であり、理性的な判断の根幹をなすものである。この感性の定義や考え方を含めて、マンマシンインタフェースのデザインに関わる人間の特性や測定と制御の仕組みについて、感性科学および感性工学の研究手法や研究成果をもとにしながら、感性科学によってとらえる方法について学ぶ。さらには、感性の働きに基盤を置くデザインの目的と方法について講述し、人工物の関係をデザインするための感性科学の方法を学ぶ。	2011年度までの「デザインと認知科学」に相当。
Y720401	建築史	1	2.0	1-4	通年	集中			古代から近世にいたる建築史の通説。西洋・東洋・日本における建築を時系列に沿って学ぶとともに、それらの地域を横断し、文化伝播の諸相の一つとしての建築を考える。建築の歴史を学ぶことにより、現代社会に求められる建築文化の新たな視点を見出す。	
Y720821	建築材料論	1	2.0	1-2					建築物を構成する構造材料(コンクリート、木材、鋼材)、仕上げ材料、機能性材料の特性及び使用部位において要求される機能・性能とそれらに呼応する性質を学習する。また、建築材料に関連する建築生産行為全般の最新の話題を取り上げ、建築材料に関する幅広い知識を習得する。	西暦奇数年度開講。
Y720921	構造力学及び構造計画	1	4.0	1-2					建築物等の構造設計における荷重外力の種類、種々の構造形式、応力、応力度、ひずみ度、変形等の概念とそれらの計算法について学ぶ。不静定構造物の解法や各種構造種別についての説明を含む。	西暦奇数年度開講。
Y721101	情報システムデザイン学	1	2.0	2-3	春C 夏季休業中	水4,5 集中		内山 俊朗, 榊原 瑞穂	身近な題材に基づいたシステムのデザインでは、利用フローやエコシステムを含んだ一連の流れに重点を置き、コンセプトの提案から運用するまでのシステムデザインを行う。公共空間における新機能提案では、日本における大きな時代の流れの把握と、各世代別のくらしの実情データを参考に、ペルソナに向けたサービスとして新しい機能を提案する。	西暦偶数年度開講。
Y721521	情報メディア論I	1	1.0	3	春AB	木3		李 昇姫	情報のあり方を理解し、人間と情報との関わりを多様な状況に基づいて考える。情報メディアを用い、情報とプロダクトの関わりを、ビジュアルに限らず、人間の五感と感情、感性に働きかける要素を全て含んだものとし、芸術、デザインにおける新たな情報処理のプロセスや表現方法を提案する。	英語でも可。総合研究棟D306で行う
Y721531	情報メディア論II	1	1.0	3	秋AB	木3		李 昇姫	情報のあり方を理解し、人間と情報との関わりを多様な状況に基づいて考える。情報メディアを用い、情報とプロダクトの関わりを、ビジュアルに限らず、人間の五感と感情、感性に働きかける要素を全て含んだものとし、芸術、デザインにおける新たな情報処理のプロセスや表現方法を提案する。	英語でも可。総合研究棟D306で行う。
Y721902	ダイナミックインタラクションデザイン演習	2	1.0	2	秋AB	火3	総合研究棟D306	李 昇姫, 村上 史明	情報・プロダクト・メディアアートを融合した、オブジェによるインタラクション設計の基礎を習う。センサによるハイテック電子技術や形の素材の仕組みを利用したローテックによるインタラクション設計を同時に行う。	
Y722201	生産システムデザイン学	1	2.0	2-3	春AB秋AB	月3	5C407	小山 慎一, 山中 敏正	ポットのように、機構と情報を併せ持つ人工物をデザインするために、簡単な機構の理解から、「動き」のデザイン、「情報」のデザインについて論及する。さらに、論理のみではなく「感性」と機構の関係について理解を深める。	2011年度以前開講の「感性情報機構論」に相当
Y722501	生産材料・技術論	1	3.0	2-3					生産デザインにおける量産素材の加工成形技術、組立、表面処理技術を、デザインプロセスとともに、史的考察ならびに最新の技術の理解を交えながら講述する。	西暦奇数年度開講。
Y722621	デザインイノベーション論	1	1.0	2-3	春AB	金2	5C513	山田 博之	デザインにおけるイノベーションについて事例を通して学習し、プロジェクトマネージメントの視点からデザインを行うための視点を養う。	
Y722912	学外演習(情報・プロダクトデザイン)	2	1.0	3	秋ABC	随時	6A308	山中 敏正	情報・プロダクトデザインに関する実践的環境について、現場を訪れ、実際のデザイン実務について学ぶことによって、デザインの目的やプロセスを体験的に学ぶ。	GDP
Y722922	学外演習(環境・建築デザイン)	2	1.0	3	春C夏季休業中	集中		野中 勝利, 渡和由, 花里 俊廣, 貝島 桃代, 橋本 剛, 加藤 研	学外の著名な環境・建築デザインの現場を訪ね、見学を行い、デザインの過程・現状・文化などを体験的に学ぶ。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y722933	学外実習(情報・プロダクトデザイン)	3	1.0	4	秋C	応談		内山 俊朗	情報・プロダクトデザインに関する実践的環境について、現場環境に就いて、実際のデザイン実務について実習する。内外の企業や実践的プロジェクトにおける実習やインターンシップの機会も活用して、デザインの目的やプロセスを体験として修得する。	GDP
Y722943	学外実習(環境・建築デザイン)	3	1.0	3	秋ABC	随時		花里 俊廣	企業やデザイン事務所等において、その専門とするデザインプロセスの実際を体験・習得する。	GDP
Y723301	都市デザイン論	1	2.0	3	秋AB	木4,5	5C302	野中 勝利	都市や建築にかかわる様々な課題が、近代の都市づくりの中でどのような過程を経てきたのか、そして現代における建築・都市空間の計画とデザインの方法と技術について、国内外の事例の解説を通して、その理論と実践とを講述する。	
Y723421	住宅地計画論	1	2.0	3	春AB	月3,4	5C513	渡 和由	住宅地計画に関わる都市・土木・ランドスケープアーキテクチャ・建築・インテリア・マネジメントからの多面的かつ総合的な視点、生活の質を向上させるプレースメイキングとサイトプランニングの方法論について事例を示しながら講述する。	
Y723601	建築設計論	1	2.0	3	通年	集中		貝島 桃代	住宅論、建築論、都市論を題材に、都市や周辺環境への観察を、いかに建築として定着させるかを、建築設計論として考察する。	
Y723811	建築環境計画論	1	2.0	3	秋AB	火4,5	5C307	橋本 剛	建築・都市における熱・空気環境、光・視環境、音環境、水環境を対象とした環境計画を行うために必要な基礎的事項を取得し、建築設計・都市計画に応用できるようにする。	Y723821建築設備計画論と併せて履修することが望ましい。
Y723821	建築設備計画論	1	2.0	3	春AB	火4,5	5C307	橋本 剛	建築・都市における熱・空気環境、光・視環境、水環境を対象とした設備計画を行うために必要な空調設備、給排水設備、照明設備などの基礎的事項を習得し、建築設計・都市計画に応用できるようにする。	Y723811建築環境計画論と併せて履修することが望ましい。
Y724001	建築計画論A	1	1.0	3	春AB	火3	5C316	花里 俊廣	建築を計画するのに必要な知識を得るため、建物や場所がどのように機能し、意味を持つのか、人間の行動や社会的側面から考察する。特に、現代の住宅・集合住宅、インテリア、住宅の歴史などに焦点を絞って講述する。	
Y724011	建築計画論B	1	1.0	3	春C	火3,4	5C316	花里 俊廣	建築を計画するのに必要な知識を得るため、建物や場所がどのように機能し、意味を持つのか、人間の行動や社会的側面から考察する。特に、環境と行動との関係に焦点を絞り、空間・体験の記述、行動場面、環境認知、建築と時間、環境の評価などについて講述する。	
Y724201	建築構法論	1	2.0	3	秋AB	月4,5	5C308	加藤 研	建築空間を実現する上での様々な構法について、代表的な構法である木構造、鉄骨構造、鉄筋コンクリート構造を取り上げ、それぞれの構造材料の特性と空間架構の可能性について講述する。特に現代において様々な試みられている新しい構法の事例についても紹介する。	
Y724202	建築構法論演習	2	1.0	3	春C	月3,4	5C307	加藤 研	詳細図の製図を行い、構造・屋根・床・壁・開口部など建築物の各部ディテールの設計方法を習得する。	建築設計を行う授業を履修済で、製図の経験があることが望ましい。
Y724312	情報・プロダクトデザイン演習4	2	3.0	4	秋AB	火4-6	6A302, 6A303, 6A308	内山 俊朗	情報、プロダクトデザインに関わる特定課題に基づく演習。複数の課題から選択して演習を行う。	
Y724322	環境・建築デザイン演習4	2	3.0	4	春AB	金4-6	6A302, 6A303, 6A308	橋本 剛	町並みと環境に配慮した建築物の計画と設計の演習を行う。具体的な町並みの事例を取り上げ、その現状調査と地域社会の課題を整理・分析し、町並みと環境に配慮した建築物の計画、設計の提案を行う。	
Y724414	プロトタイピング基礎	4	1.0	1					実働するモデル(プロトタイプ)の制作手法の基礎について学ぶ。3DCAD、デジタルファブリケーションツールを用い、実際に使用できるプロトタイプを作る。	2018年度開講せず。芸術専門学群デザイン専攻志望者に限る。総合研究棟D211で行う。
Y724424	プロトタイピング応用	4	2.0	2					実働するモデル(プロトタイプ)の製作手法について学ぶ。3DCAD、電子工作、プログラミング、デジタルファブリケーションツールを用い、実際に体験できるプロトタイプを作る。	2018年度開講せず。「プロトタイピング基礎」を履修済みのこと。総合研究棟D211で行う。
Y724512	プログラミング基礎	2	1.0	2	春C	金3,4		学術情報メディアセンター A203 山田 博之	ユーザーインターフェースのプロトタイピングに必要なプログラミングの基礎を学び、インタラクティブなプログラムの作成方法を習得する。	芸術専門学群生に限る。
Y724522	プログラミング応用	2	1.0	2	秋C	金4,5		学術情報メディアセンター A203 山田 博之	製品開発に必要なオブジェクト指向プログラミングの基礎を学び、センサーやスマートフォンを用いたインタラクティブなプログラムの作成方法を習得する。	芸術専門学群生に限る。「プログラミング基礎」を履修済みのこと。2014年度までの「プログラミング演習」に相当。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y724611	デザイン解析論基礎	1	1.0	2	秋ABC	集中		山中 敏正	デザインは、単に直観による表現に留まらず、デザインによる感性価値や社会価値の向上をも達成しなくてはならない。そこで、デザイン情報の体系的な理解のために、データとは何か、調査・計測による客観的なデータの捉え方、データの分析や考察するための手法について学び、デザインプロセスにとって必須である、価値創造の考え方の基盤を養う。	2014年度までの「デザイン解析論」に相当。
Y724621	デザイン解析論応用	1	1.0	3	秋AB	集中	5C301	水谷 奈那美	デザインは、単に直観による表現に留まらず、デザインによる感性価値や社会価値の向上をも達成しなくてはならない。そこで、デザイン情報の体系的な理解のために、データとは何か、調査・計測による客観的なデータの捉え方、データの分析や考察するための手法について学び、デザインプロセスにとって必須である、価値創造の考え方の応用力を養う。	「デザイン解析論基礎」を履修済みのこと。2014年度までの「デザイン解析論」に相当。